



NatWest
Group

ナットウェストグループ 2022年度通期業績

2023年2月17日

本資料は、英文資料である原文を日本語に翻訳したものです。本資料と原文とが異なる場合、常に原文が優先いたしますことをご了承ください

Document classification: Public

1



NatWest
Group

ハワード・デイヴィス 会長



NatWest
Group

アリソン・ローズ

最高経営責任者

力強い2022年度パフォーマンス

強い収益力

51億ポンド

税引前営業利益
前年同期38億ポンド

33億ポンド

最終帰属利益
前年同期30億ポンド

12.3%

有形資本利益率
前年同期9.4%

事業成長、効率性、自己資本に引き続きフォーカス

29.7%

収益増加率¹
前年度対比で80億ポンド増加

(2.9)%

コスト削減¹ 前年度対比で2億100万ポンド圧縮
費用対収益比率² 前年度対比で14.4%低下し55.5%に

14.2%

普通株式等Tier1 (CET1)比率

自己資本の290ベースポイントに相当する51億ポンドを株主還元、2022年度に支払いと未払計上

13億ポンド

普通株配当金
最終配当金10ペンスを含む

17億5000万ポンド

特別配当金
株式統合の際に支払い

20億ポンド

自社株バイバック
2022年第1四半期に12億ポンドを政府保有株直接買戻し(DBB)³、8億ポンドを市中バイバック⁴

1. 特記事項を除くベースの継続事業グループの数値 2. 費用対収益比率はグループ収益とグループ費用を用いて算出。費用には問題行為・訴訟関連費用は含まれない。3. DBBは英国政府から株式を直接買い取るDirected buy back の略、2022年3月に実行。4. 市中バイバックは2023年2月17日に公表。未払金として計上し普通株式等Tier 1 (CET1)比率14.2%に参入済み。

経営戦略を着実に実行、2022年度目標を達成

目標		2022年度実績	達成状況
事業成長目標	継続事業グループの2022年度収益目標110億ポンド ^{1,2} (後に128億ポンドに上方修正 ³)	131億ポンド	✓
	気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF)の目標額1000億ポンドに貢献追加 ⁴	245億ポンド	達成可能
規律を持たせた費用と投資	2022年度中に3%前後のコスト削減実行 ^{1,5}	2.9%	✓
	事業変革の更なる推進に2021年から2023年にかけて毎年10億ポンド程度の投資実行	10億ポンド程度の投資	✓
効果的な自己資本配分	ナットウエスト・マーケットズの事業改編に再注力	完了	✓
	アイルランド共和国からの段階的事業撤退	大きな進捗	達成可能
	2022年度末迄に普通株式等Tier1(CET1)比率14%程度、2023年度は13%~14%の範囲	14.2%	✓
持続可能な収益性と資本還元	2023年度迄にグループ有形資本利益率(RoTE) 10%以上に (後に14~16%に上方修正 ³)	12.3%	達成可能
	政府保有株直接買戻し(DBB)に加え2022年度中に最低10億ポンドの資本還元を実行	支払と未払計上で総額51億ポンド	✓

1. 継続事業グループにはアルスターバンクアイルランドは含まれない。2. 特記事項は収益に含まれない。3. 収益のガイダンスは2022年度上半期末時点で125億ポンドに上方修正された後、2022年第3四半期末にさらに128億ポンドに上方修正された。有形資本利益率は2022年上半期末時点で14~16%に上方修正。4. 2021年7月1日から2025年度末までの期間の同資金提供目標総額。2021年7月1日以降の実行額は累計で326億ポンド、うち2022年度中のみで245億ポンド。5. その他営業費用は問題行為・訴訟関連費用を除くベース。

いかなる市場環境にも耐えうるバランスシートを構築済み、不確実性に対処しステークホルダーへの支援体制は充分

強靱な自己資本、調達能力、流動性

14.2%
普通株式等
Tier1(CET1)比率

5.4%
レバレッジ比率

145%
流動性カバレッジ
比率

質の高い資産内容

93%
有担保の
個人向け融資

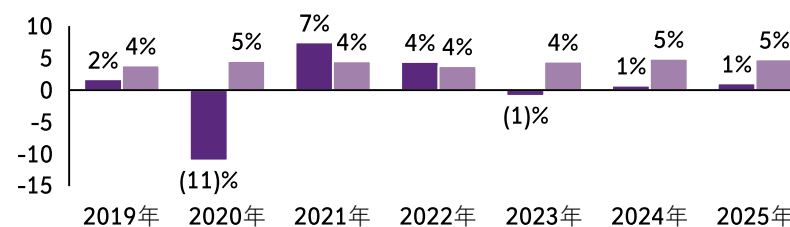
53%
モーゲージ融資
平均LTV

47%
商業用不動産融資
平均LTV

1. 2019年から2022年は英国銀行統計局による実績値。2023年から2025年の推計値はベースケースのシナリオに基づいた当社推計の年間平均。推計詳細はナットウエストグループのアンニュアルレポート198ページに記載されたIFRS国際財務報告基準第9号に基づく公表内容を参照。

英国のマクロ経済見通しは逆風が続く見込み。しかし当社の体制は引き続き盤石。

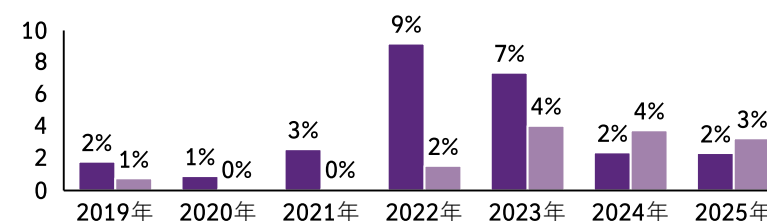
年平均, %¹



■ 英国GDP成長率 ■ 英国失業率

高インフレと高利率の経済状況に直面する顧客

年平均, %¹



■ 英国消費者物価指数 ■ 英国銀行ベース金利

当社存在意義に沿い、経済を支え、ステークホルダーを支援



カテゴリー	事例
顧客への支援	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度以降、貸出金が全体で6.7%増加¹ 2022年度中のモーゲージ融資新規実行額450億ポンド(グロス)を含め、個人向けおよびプライベートバンキング向け貸出金が8.1%増加 2022年度中の気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF) 新規実行額203億ポンドを含め、コーポレート&インスティテューショナル向け貸出金は4.4%増加² 当社のウェルス関連事業では、9万件の顧客がデジタル上で投資活動
経済不確実性の下での事業管理	<ul style="list-style-type: none"> リテール顧客や個人事業主に積極的にコンタクト、支援案や生活費関連情報を提供 約70万件の顧客に金融健康診断を実施 困難を抱えている顧客や支払期限猶予が必要な顧客に対し、チャリティや戦略的パートナーを通じ970万ポンドの資金を提供³
従業員への支援	<ul style="list-style-type: none"> 従業員向けに包括的給与パッケージを組み生活費援助 2023年1月から子どもの養育目的の休暇ポリシーを導入 開始以来96%の従業員がナットウエストアカデミーの教育プログラムを利用ーうち35%は将来的なスキル向上を目指し自発的に履修

1. グループ全体のグロス貸出金は償却原価で表示、セントラル管理部門その他を除くベース。2. CSFFはClimate and Sustainable Funding and Financingの頭文字。3. 2022年下半期に**400万**ポンドを発表したが、**2023年1月**にはさらに**570万**ポンドを追加。

当社存在意義に沿う戦略を着実に実行、将来の事業成長を確固たるものに

事業変革の進捗状況

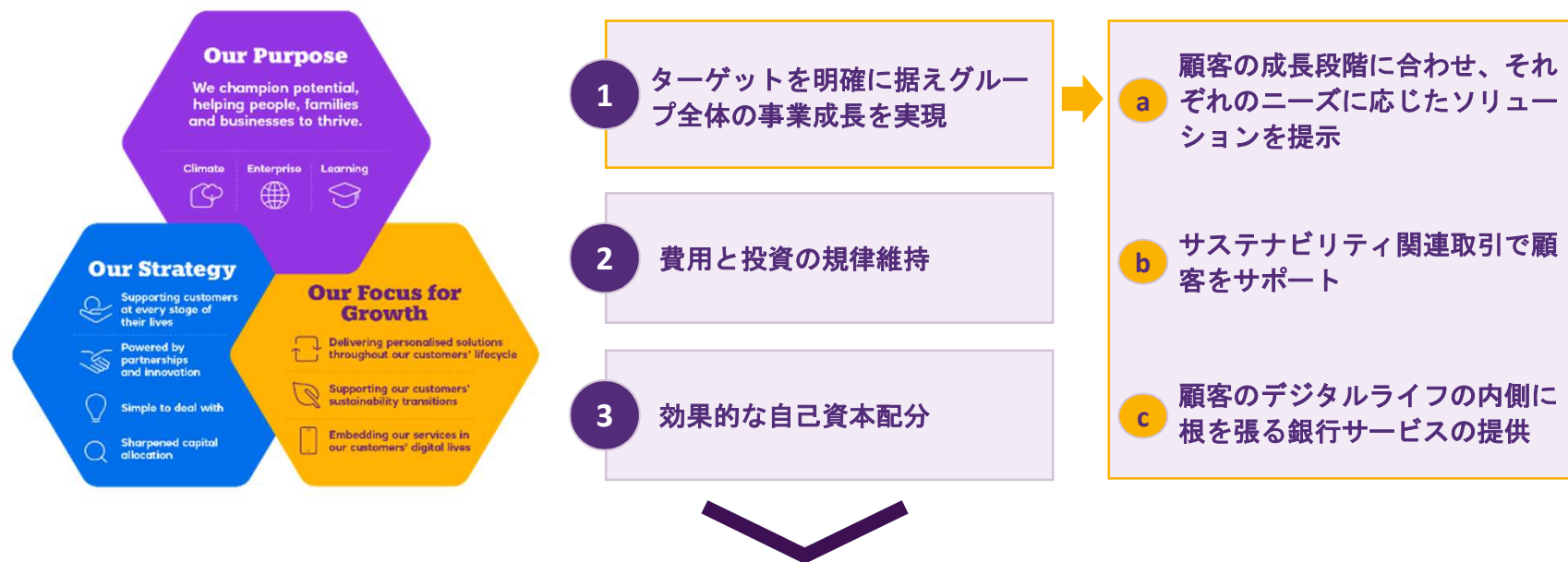
戦略上の優先課題	評価メトリクス	2019年度	2022年度	
顧客の成長過程に応じたサポート提供	個人向け事業ネットプロモータースコア ¹	+4	+22	↑
	富裕層向け事業ネットプロモータースコア ¹	-2	+25	↑
	企業向け事業ネットプロモータースコア ²	+23	+22	→
簡素化された事業	プロセッシング経由で直接開設された個人向け当座預金と貯蓄預金の口座数の割合	14%	72%	↑
	デジタル上で処理された個人顧客のニーズ件数	53%	88%	↑
	デジタル上で事業取引を行っている企業顧客数	76%	83%	↑
絞り込んだ資本配分	リスクウェイトの加重平均値(RWA Density) ³	53%	47%	↓
	ナットウエスト・マーケットとアルスターバンク・アイルランドのリスクアセット (10億ポンド)	47.9	27.1	↓
	商業用不動産向け貸出金残高 (10億ポンド)	23.1	17.3	↓
イノベーションと事業提携でパワーアップ	Mettle の口座開設数 (単位：千件)	<1	44	↑
	Tylが手掛けたトランザクション数(単位：百万件)	1.0	69.5	↑

1. 英国とウェールズでInMoment社が行った戦略上のネットプロモータースコアの比較調査の結果。2021年12月に調査手法に変更が加えられモバイル機器上で調査に返答することが可能になった。それにより2022年にはすべての該当ブランドでスコアの上昇が生じたが、パフォーマンスのランク付けに影響はなし。2. 2022年第4四半期にSavanta社が行ったMarketVueビジネスバンキングの調査結果。グレートブリテン内の年商200万ポンド以上のビジネス2738社を対象に調査。3. リスクウェイト加重平均値(RWA density)は期待信用損失(ECL)引当金をグロス総貸出金(非継続事業グループ分も含む)から差し引いた数値でリスクアセット総額を除いた数値。4. Savanta社によるMarketVueビジネスバンキング調査の結果から。8. 年商200万ポンド以上の事業体のうち、主要取引銀行としてナットウエストグループが最高順位と答えた割合が28.7%あり、ネットプロモートスコアも最高得点を示した。5. 他の英国国内銀行と当社のバランスシートを比較して順位を算出。6. 最も直近に入手可能なデータの投資額および預金額を用いた推計。

ナットウエストの現在像

デジタル界のリレーションシップ銀行
<ul style="list-style-type: none"> グループ全顧客数1900万件 コマーシャルバンキングで英国内首位⁴ モーゲージ銀行として英国内第3位⁵、プライベートバンクとして英国内首位⁶ ルースター・マネーの買収により若年層の取り込みを一層強化
<ul style="list-style-type: none"> 顧客とのデジタル上での接触を高め大量処理を実行 最新人工知能 (AI) を駆使し、顧客サポートもてこ入れ 個人事業主バンキングの融資を5万ポンドを上限に即決
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業3部門すべてにおいて成長に向けた足場を確保 分散の効いた融資ブックで自己資本とリスクの両方を積極管理 株主への利益還元
<ul style="list-style-type: none"> 「サービスとしての銀行業」の実現にVodeno社と戦略提携 クーツ社とブラックロック社でコラボレーション

当社の存在意義に沿う戦略に基づき事業を構築、費用と自己資本に規律を持たせつつ、成長の鍵を握る主要3事業拡大へ



持続可能な有形資本利益率14~16%を実現

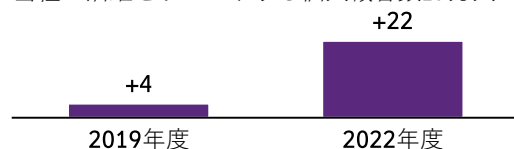
1 当社の中核的強みである個人向けバンキングで盤石な基盤固め

個人向けバンキング：グループ収益の43%、グループ貸出金の54%¹、グループリスクアセットの31%

主要な達成案件 (2019年度と2022年度の対比)

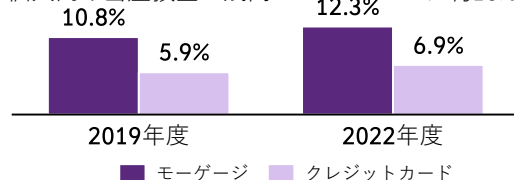
顧客満足度の改善, ネットプロモータースコア

➤ 当社が活躍をサポートする個人顧客数17万人



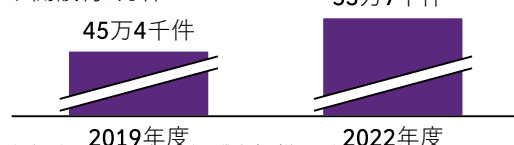
モーゲージ融資²とクレジットカード融資でストックベースの市場シェア拡大

➤ 個人向け当座預金の残高ベースシェア³は約16%



若年層向け・ファミリー向け口座数が増加

➤ 2022年中のナットウエスト・ルースターマネーカード開設約9万件



戦略上の焦点 (2023年度以降)

a 顧客の成長段階に合わせ、それぞれのニーズに応じたソリューションを提示

- データに裏付けられた対話を通じ顧客の金融活動の目標に到達するよう個々のニーズに即した支援を提供
- 若年層およびファミリー向けのサービスを強化、シンプルかつ富裕層にもアピールする提案の構築
- 容易なアクセスと顧客ニーズに即した提案を強化し、顧客の金融健康度の維持に貢献

b サステナビリティ関連取引で顧客をサポート

- 住居光熱費の効率化改善を顧客に促し、機器設置アイデア等でサービス向上
- 2023年1月1日から2025年12月末までの期間、顧客がエネルギーパフォーマンス証書(EPC)でAあるいはBの認証を得られるよう、少なくとも100億ポンドの融資を提供予定⁵
- 個人顧客にも気候変動問題の教育機会を提供し、各家庭の二酸化炭素排出量の把握が可能になるよう支援

c 顧客のデジタルライフの内側に根を張る銀行サービスを提供

- 第三者を介さず顧客と当銀行がデジタル上で直接取引を完結させるモーゲージ融資契約を推進し市場シェアを拡大
- 当社によるクレジットスコアのソリューションを市場全体で利用可能に

1. 2022年度の総収益および顧客向け貸出金（償却原価）。2. 個人向けバンキングとプライベートバンキング両業務のモーゲージ融資残高シェア。2022年12月時点の英国銀行統計より。3. 当座預金の2022年度末時点残高シェア。2022年12月時点のCACIデータより。4. ナットウエスト・ルースターマネー、およびナットウエストの既存の当座預金口座から11歳～17歳の若年層向けに分離/発展した口座。5. 気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF)の提供目標額1000億ポンドの一部として。

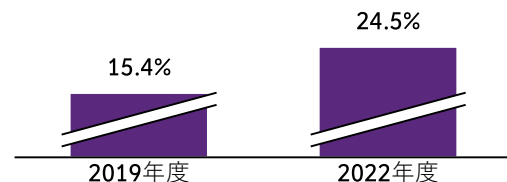
1 富裕層向け事業分野で管理運用資産残高と事業規模を拡張

プライベートバンキング：グループ収益の8%、グループ貸出金の5%¹、グループリスクアセットの6%

主要な達成案件 (2019年度と 2022年度の対比)

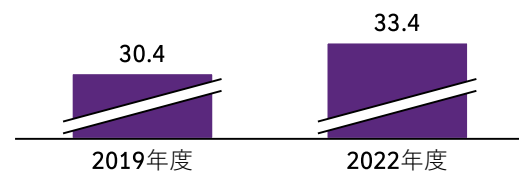
高RoEを誇り、英国のプライベートバンキングで首位²

➤ クーツ&Coは2021年にBコーポレーションに認定



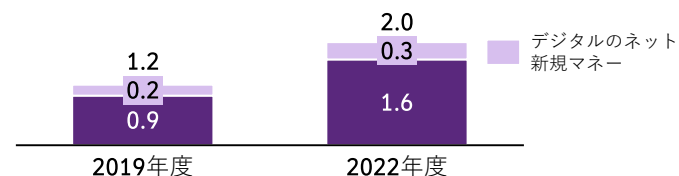
運用資産残高が増加³, 10億ポンド

➤ 2019年度以降に新規流入した65億ポンドを含む



新規マネーが増加⁴, 10億ポンド

➤ 2019年度以降デジタルの新規マネーがネット⁵で60%増加



戦略上の焦点 (2023年度以降)

a 顧客の成長段階に合わせ、それぞれのニーズに応じたソリューションを提示

- グループ内の知人紹介を活性化させ管理運用資産残高を増加させ、富裕層向けサービスにおけるネットプロモータースコアを25ポイント以上に上昇させる
- 富裕層向け商品を拡充させ、個々の顧客ニーズに即したサービスの提供で顧客の当社利用を促す

b サステナビリティ関連取引で顧客をサポート

- 2050年度までに当社が自由裁量を持つ投資案件でネットゼロ到達を目指す
- 顧客の気候変動対応への移行をサポートするために、サステナブル投資の能力増強を図る
- 自宅でエネルギー効率を改善できるよう、顧客に支援提供

c 顧客のデジタルライフの内側に根を張る銀行サービスの提供

- デジタルおよびハイブリッド型の投資の提案を通じ、資産管理事業プラットフォームの使い易さとディストリビューション能力を向上させる
- 企業年金周りの金融サービスを提供するフィンテック企業クシオンのテストプログラムに成功、買収で大株主に。同買収を足掛かりに今後新たな手数料収入への道筋⁵

1. 2022年度の総収益および顧客向け貸出金（償却原価）。 2. 最新の入手可能データをもとに投資残高および預金残高から推計 3. 管理運用資産(AUMA)は運用資産(AUMs)およびプライベートバンキング部門経由で当社に預け入れられた管理資産(AUAs)の合計値。2021年第4四半期にアダム&カンパニー投資顧問Ltdの売却に伴い管理運用資産は18億ポンド減少。 4. ネット新規マネーは個人向けバンキング、プライベートバンキング、コマーシャル&インスティテュショナルそれぞれの部門事業パフォーマンスをモニターするため、新規ビジネスの流入と既存顧客の当社からの取引撤退を各部門で把握、報告している。 5. 2023年2月13日に買収を公表。

1 コマーシャル&インスティチュショナル全体で商品内容拡充、顧客との リレーションシップ強化へ

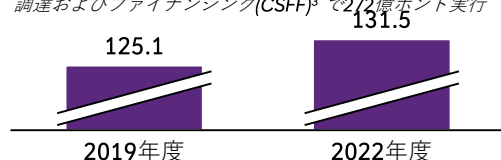
コマーシャル&インスティチュショナル：グループ収益の49%、グループ貸出金の35%¹、グループリスクアセットの59%

主要な達成案件 (2019年度と 2022年度の対比)

戦略上の焦点 (2023年度以降)

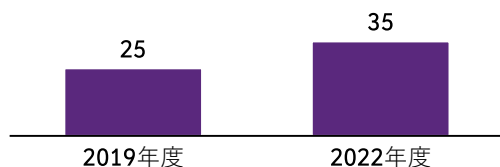
顧客サポート、貸出金 10億ポンド²

➤ グループ目標総額1000億ポンドに対し気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF)³で272億ポンド実行



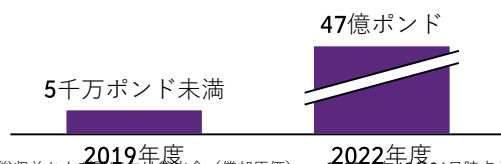
資金事業の拡大に成功⁴、コミットメント残高、10億ポンド

➤ 部門全体で強調体制を敷きよりよい顧客サービスを提供



決済管理事業の拡大、Tyl やPayit 経由でプロセスされた金額

➤ 2022年度に7700万件のトランザクションを処理



a 顧客の成長段階に合わせ、それぞれのニーズに応じたソリューションを提示

- 上位大手銀行としての当社ポジションを活かし、2021年第4四半期に10.8%だったスタートアップ企業向け融資市場シェアが2022年第4四半期には16.4%に拡大⁵
- 事業主や高成長が見込める顧客に対し成長段階に応じたサポートを提供
- 貿易ファイナンスの新規プラットフォーム設立に投資、顧客体験の拡大と向上を目指す

b サステナビリティ関連取引で顧客をサポート

- ESGとサステナブル投資をさらに牽引、能力拡大⁶、気候変動対応に多額の資金提供を実行し、気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF)の目標額³達成を目指し、C&I部門だけで272億ポンドを実行済み
- 「カーボンプレイス」というプラットフォームを開設、顧客がカーボンクレジットを各自で簡単に売買できる仕組みを構築
- 中小企業顧客向けに、二酸化炭素排出量を把握するための「カーボン・プランナー」という支援サービスを開設

c 顧客のデジタルライフの内側に根を張る銀行サービスの提供

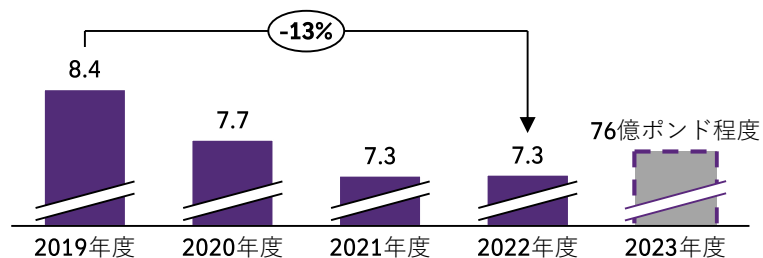
- 為替・金利プロダクツ提供を通じ、既存顧客層への一層の浸透を図る
- 事業主顧客のためにTyl とPayit の機能を拡充し、柔軟な決済サービスを提供
- 英国とEU欧州連合の間でのスムーズなバンキングサービス提供を目的に、Vodeno社と戦略的提携

1. 2022年度の総収益および顧客向け貸出金（償却原価）。2. 2019年12月31日時点と2022年12月31日時点のグロス貸出金残高。3. 当グループでは2021年7月1日から2025年度までの期間に気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF)として1000億ポンドの資金提供（バランスシート計上分およびオフバラン分の双方を含む）を目標に掲げており、コマーシャル&インスティチュショナル部門のみで累計272億ポンドを実行した。4. ミドルマーケットとグローバル資金マネジャーおよびESGのような特殊セクター向け資金を提供している顧客に対し当社が発行したコミットメント残高。利用残高および未使用分をともに含む。5. 始業後2年未満のスタートアップ事業のメインバンクとして、ナットウエストグループは最大市場シェア（16.4%）を持つ。他の大手銀行のプレゼンスと比較。出典：2022年第4四半期にSavanta社が行った調査MarketVue ビジネスバンキングから。グレートブリテン内のスタートアップ企業791社を対象に調査。個人銀行口座を事業に利用する事業主は除く。6. 2022年、英国金融機関グループ（FIG）部門、および英国企業発行のGSS/S債部門の両部門で、ナットウエスト・マーケットが資金調達ブックランナーとして首位を獲得。出典：2022年12月31日付けDealogic。マネーマーケットとその他短期債券は除く。

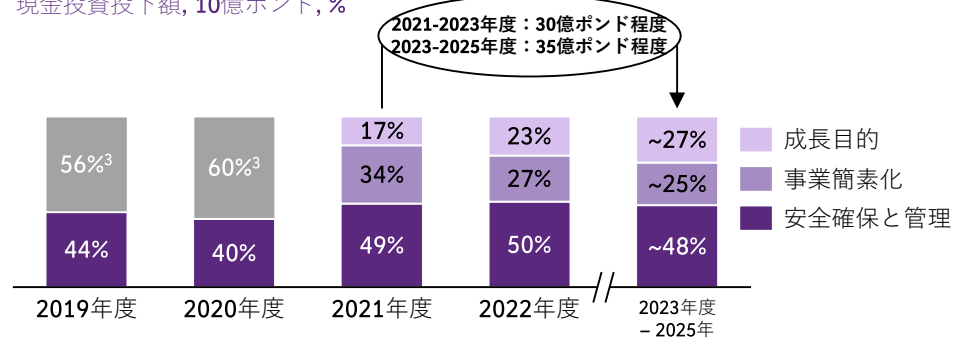
2 費用額と投資額で規律維持

業務効率の更なる向上を目指し目標設定
 その他営業費用, 10億ポンド

費用対収益比率 ¹				2023年度 目標	中期目標
60% ²	74%	70%	56%	<52%	<50%



成長目的の投資を今後は重視、投資額は増加傾向
 現金投資投下額, 10億ポンド, %



投資へのアプローチ

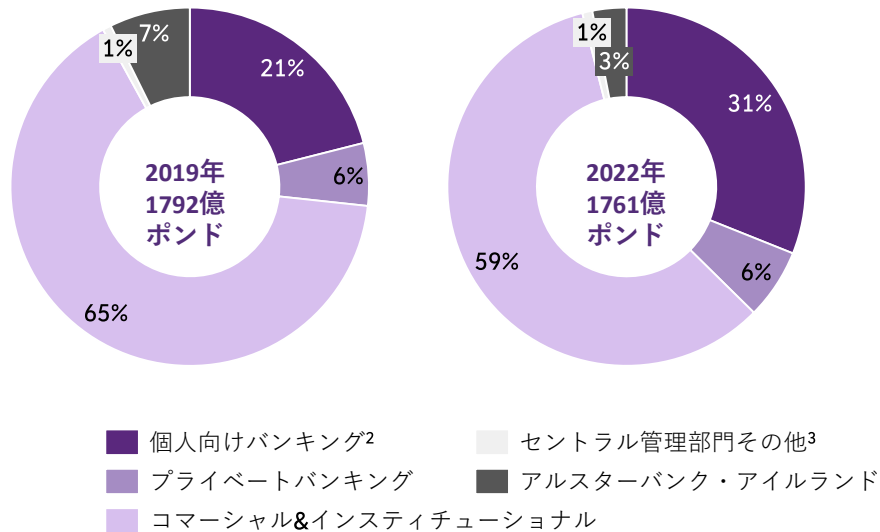
成長目的	<ul style="list-style-type: none"> 顧客ニーズに特化し明確なターゲットに向けてメッセージを発するためにデータ分析を向上 グリーン関連プロダクトの商品を充実させ、サステナブル経済への移行に伴う資金とサービス提供 グループ全体の業務内容変革を継続、デジタル上でモーゲージ融資、資金決済、ファイナンスとリスクソリューションを拡充
事業簡素化	<ul style="list-style-type: none"> 第3者を含まない当社と顧客間の直接取引を最適化 データとAIを駆使し、自動作成された対処の増加を通じて、ロータッチの遠隔デジタルサポートをより可能に クラウドへの移行継続、事業簡素化を押し進め、長期的な費用低減につなげる
安全確保と管理	<ul style="list-style-type: none"> 詐欺・金融犯罪防止に向けた能力向上のために投資継続、顧客の安全の確保・管理に努める コントロール機能改善と自動化のペース促進

1. 費用対収益比率はグループ全体の総収益と問題行為・訴訟関連費用を除いたベースの費用を用いて算出。2. 2019年度はアラワール銀行合併から為替リサイクリング益が収益として認識されたことにより費用対収益比率が一時的に改善。3. 2019年度と2020年度は全額が当社裁量出費。

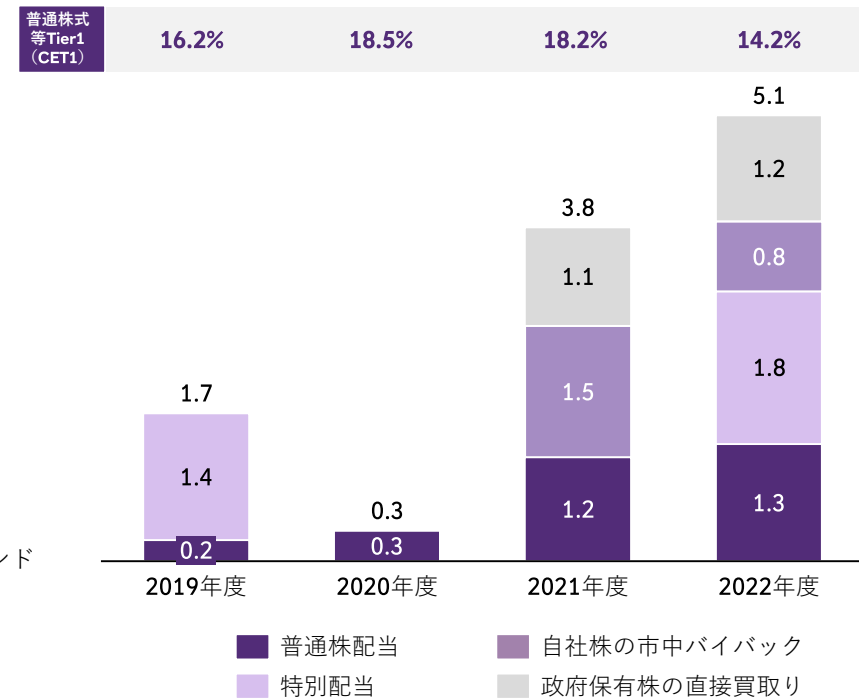
3 効果的な自己資本配分：配当性向40%を維持¹

グループ全体で自己資本配分の最適化へ

事業別リスクアセットの割合：2019年と2022年の比較, %



株主への利益還元：2019年から2022年にかけて109億ポンド
支払済みおよび未払計上分合計, 10億ポンド



1. 持続可能な中期目標 2. 規制変更に伴い2022年1月1日付で個人向けバンキングのリスクアセットは148億ポンド増加。3. 2022年度のセントラル管理部門その他にはアルスターバンク・アイルランドの残存分54億ポンドが含まれている。

持続可能な価値創造と力強い資本還元

持続可能なグループ中期目標値

持続可能な
有形資本利益率

14-16%

費用対収益比率¹

2025年度までに50%未満

配当性向

40%

+ 自社株バイバック余力

2025年度までに気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナンス(CSFF)で
1000億ポンド実行

普通株式等Tier1(CET1)比率13~14%の範囲で事業展開

1. 費用対収益比率は、グループ収益と問題行為・訴訟関連費用を除いたベースのグループ費用から算出。



NatWest
Group

ケイティ・マレー

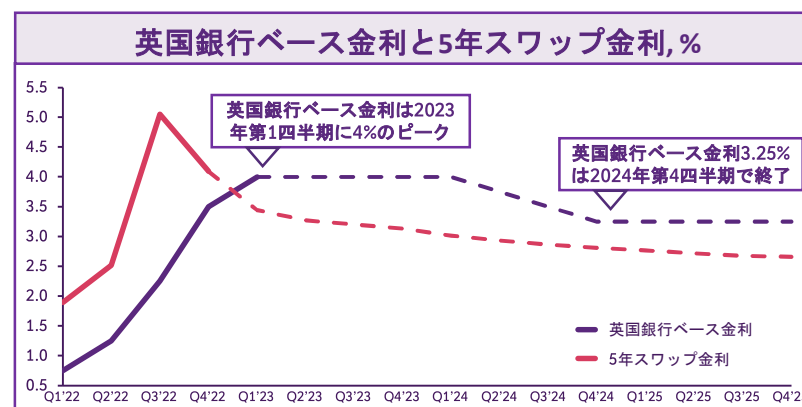
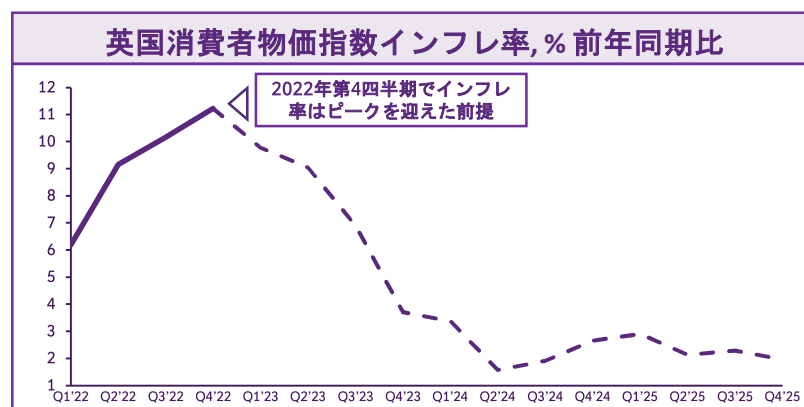
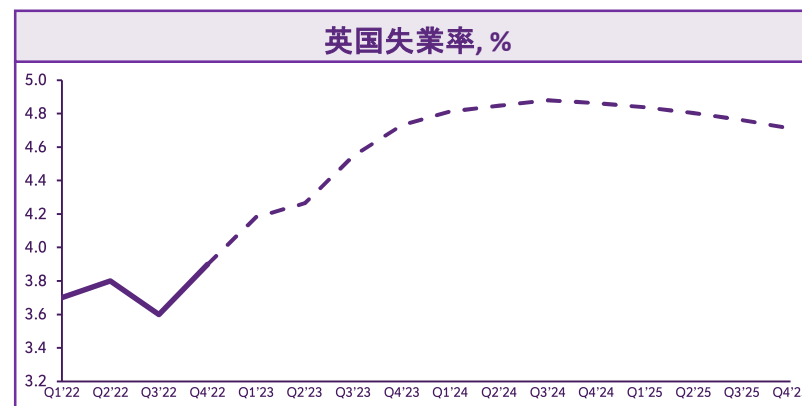
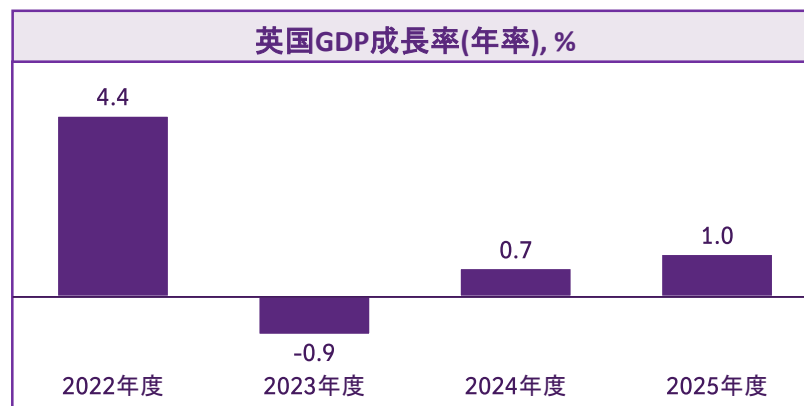
チーフ・フィナンシャル・オフィサー

2022年第4四半期および2022年度通期：力強い事業パフォーマンス

Group, £m	Q4'22	Q3'22	Q4'21	Q4'22 vs Q3'22	Q4'22 vs Q4'21	FY'22	FY'21	FY'22 vs FY'21
Net interest income, ex notable items ¹	2,909	2,640	1,922	10.2%	51.4%	9,883	7,503	31.7%
Non-interest income, ex notable items ¹	857	757	618	13.2%	38.6%	3,178	2,681	18.5%
Total income, ex notable items¹	3,766	3,397	2,540	10.9%	48.3%	13,061	10,184	28.2%
Total income	3,708	3,229	2,602	14.8%	42.5%	13,156	10,429	26.1%
Other operating expenses	(2,047)	(1,771)	(2,138)	15.6%	(4.3%)	(7,302)	(7,292)	0.1%
Litigation and conduct costs	(91)	(125)	(190)	(27.2%)	(52.1%)	(385)	(466)	(17.4%)
Operating expenses	(2,138)	(1,896)	(2,328)	12.8%	(8.2%)	(7,687)	(7,758)	(0.9%)
Operating profit before impairments	1,570	1,333	274	17.8%	4.7x	5,469	2,671	104.8%
Impairment (losses)/releases	(144)	(247)	269	(41.7%)	nm	(337)	1,173	(128.7%)
<i>Loan impairment rate</i>	<i>0.16%</i>	<i>0.26%</i>	<i>(0.30%)</i>	<i>(0.10%)</i>	<i>0.46%</i>	<i>0.09%</i>	<i>(0.32%)</i>	<i>0.41%</i>
Operating profit / (loss)	1,426	1,086	543	31.3%	162.6%	5,132	3,844	33.5%
Attributable profit / (loss), £m	1,262	187	434	5.7x	1.9x	3,340	2,950	13.2%
Return on Tangible Equity	20.6%	2.9%	5.6%	18ppts	15ppts	12.3%	9.4%	3ppts

1. これらの数値は特記事項を除くベース。特記事項の詳細はスライド43ページを参照。アルスターバンク・アイルランドおよび同行関連の特記事項を除いたベースでは利益増加率は29.7%となり、スライドページ4の数値に合致する。

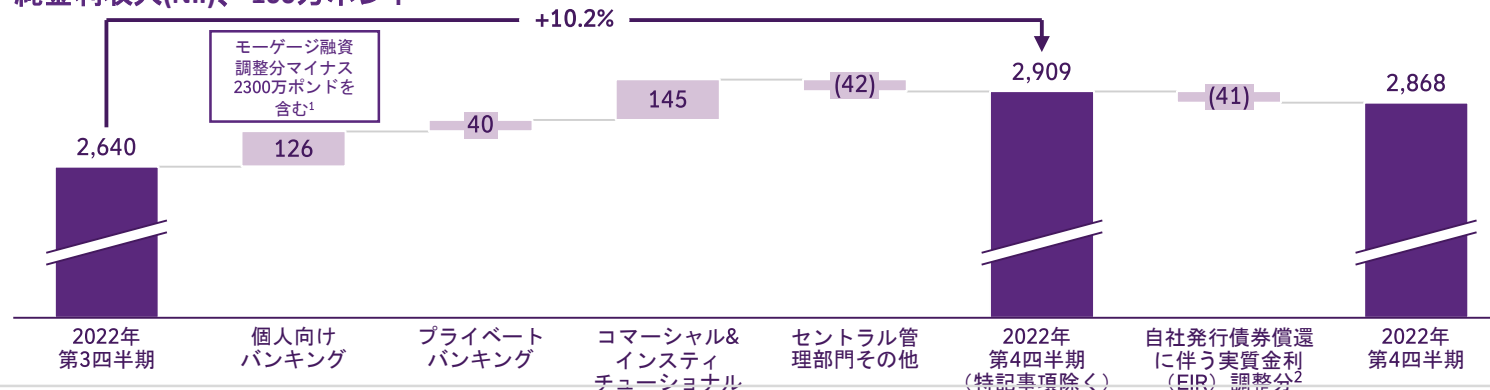
英国マクロ経済の状況と見通し¹



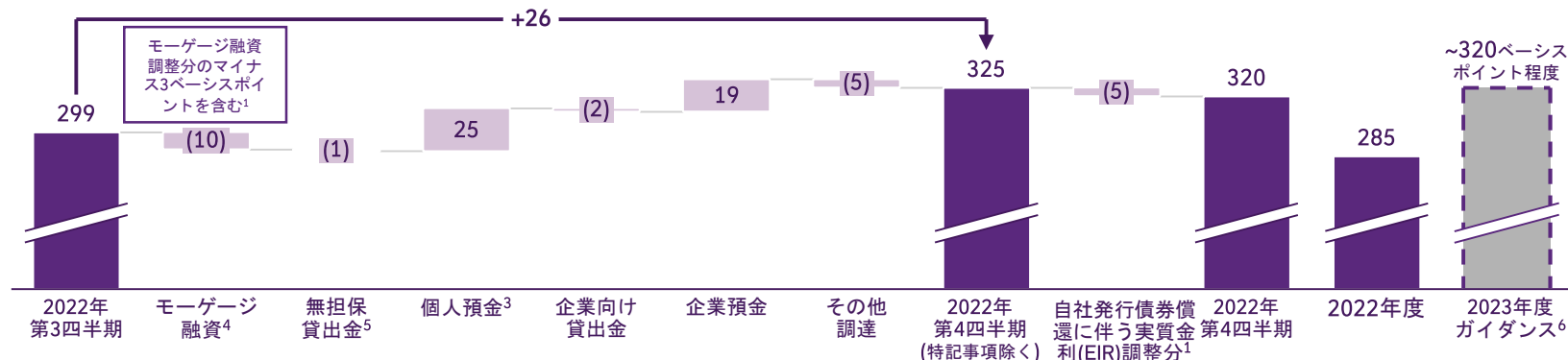
1. 2023年度から2025年度にかけての見通しはナットウエストグループの国際財務報告基準第9号におけるベースシナリオ。詳しくは当社アニュアルレポート196ページから198ページを参照。

収益創出モメンタムは第4四半期も持続

純金利収入(NII)、100万ポンド



銀行業務ネットインタレストマージン(NIM)²、ベースポイント



350.7

平均運用資産額 (AIEAs)³、10億ポンド

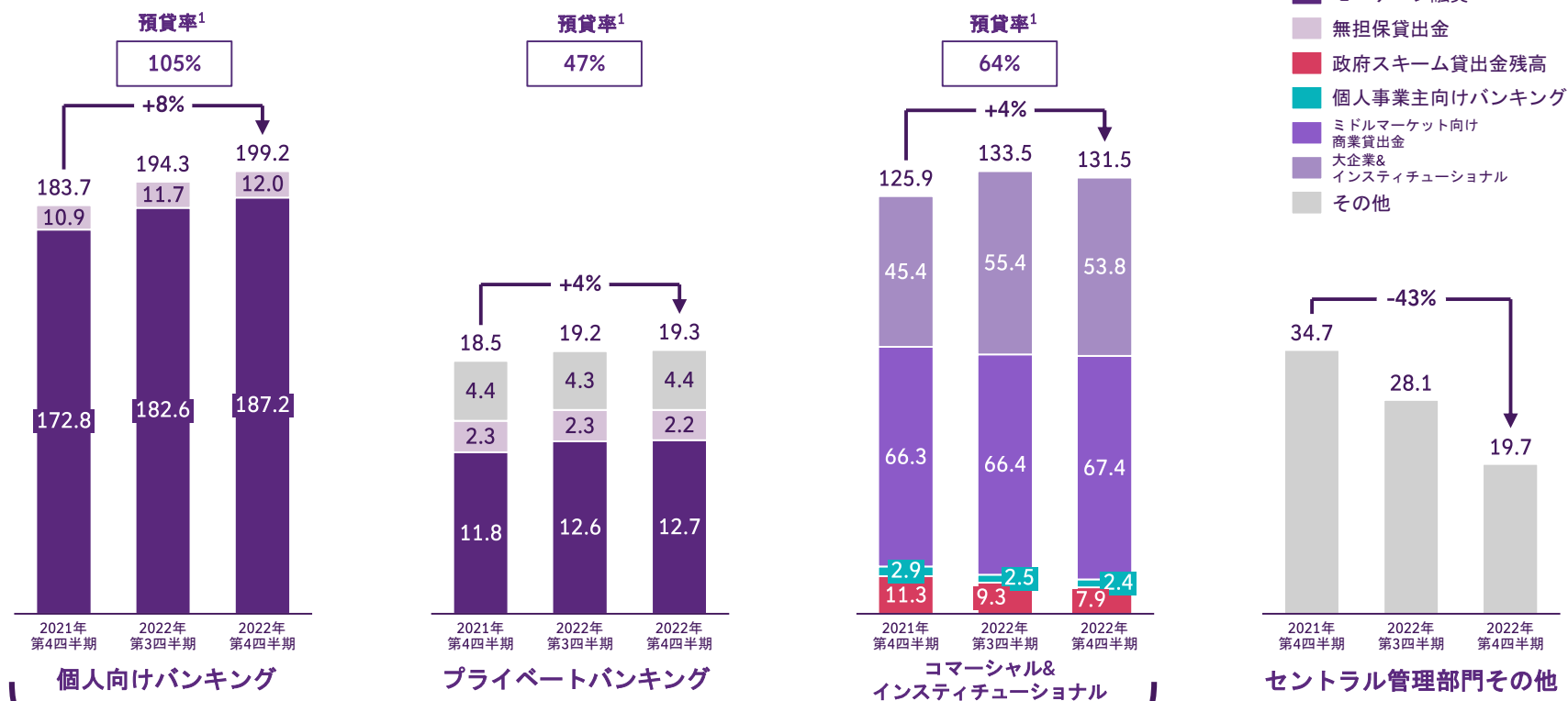
355.8

345.2

1. モータージ融資の行動学的変動に伴う調整 2. 実質金利(Effective Interest Rate=EIR)調整とは自社発行債券の償還の結果生じる金利調整 3. 流動資産バッファを除くナットウエストグループの数値 4. 個人向けバンキングとプライベートバンキングを含む 5. 個人向けバンキングとプライベートバンキングの両部門貸出金のうちモータージ融資以外の全額 6. 2023年度は英国銀行のベース金利が4%で維持されるとの前提

2022年はグループ全体でバランス良く貸出金が増加

顧客向けグロス貸出金：商品別および部門別、10億ポンド

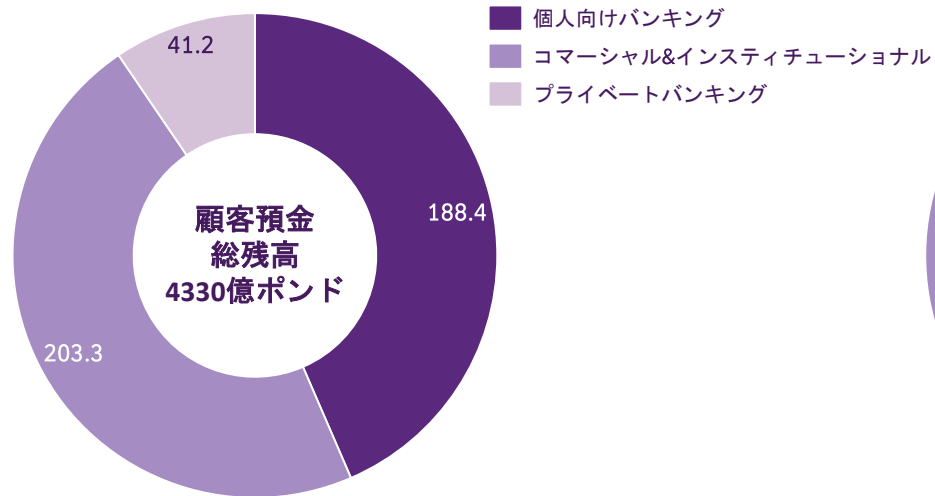


主要三部門の合計貸出金残高3500億ポンド
2022年第3四半期末対比で0.9%増加、2021年第4四半期末対比で6.7%増加

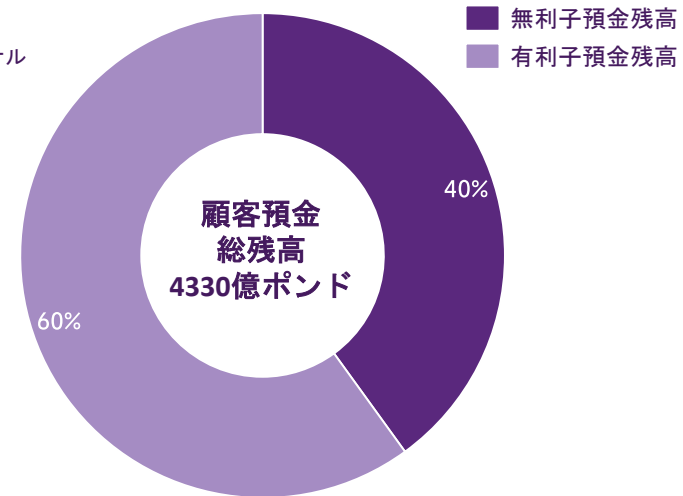
1. 貸出金を預金で除した割合

腰の強い預金調達

主要三部門の2022年度顧客預金部門別内訳、10億ポンド



顧客預金タイプ別割合、%

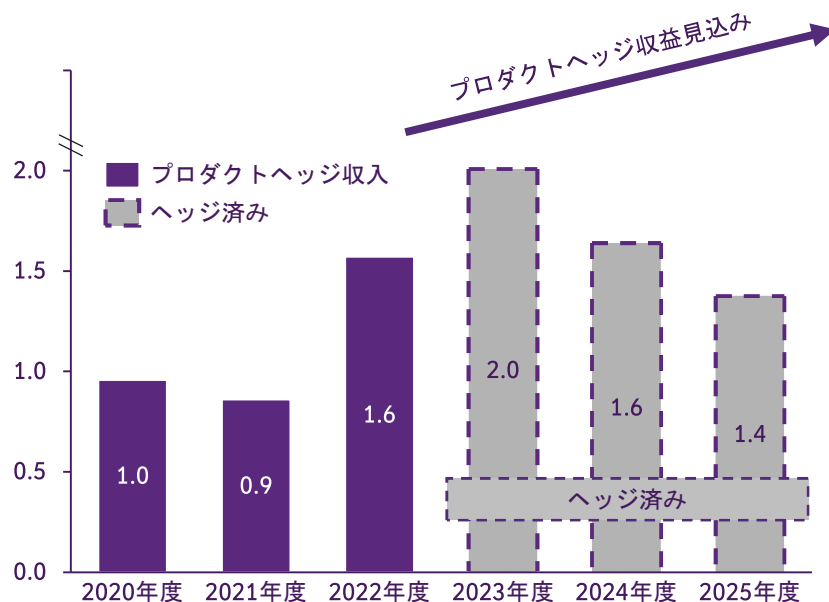


Customer deposits £bn	Q4'22	Q3'22	Q4'21	Q4'22 vs Q3'22	Q4'22 vs Q4'21
Retail Banking	188.4	190.9	188.9	(1.3)%	(0.3)%
Commercial & Institutional	203.3	215.2	217.5	(5.5)%	(6.5)%
Private Banking	41.2	42.2	39.3	(2.4)%	4.8%
Group ex central items	432.9	448.3	445.7	(3.4)%	(2.9)%
Central items & other	17.4	24.7	34.1	(29.6)%	(49.0)%
Group	450.3	473.0	479.8	(4.8)%	(6.1)%

アルスターバンク・アイルランド
セントラル管理部門その他の項目にはアルスターバンク・アイルランドの預金62億ポンドが含まれる。2022年第3四半期時点で113億ポンド、2021年第4四半期時点で184億ポンドあった同残高は、アイルランドからの段階的撤退の進捗に合わせ減少中。

構造ヘッジが向こう数年に渡り収益の追い風に

プロダクト構造ヘッジが損益に与える影響の見通し、10億ポンド



プロダクト構造ヘッジ収入算出の前提条件

2022年度末時点のプロダクトヘッジ想定元本は1840億ポンド

- 2023年度は、償還イールドが平均1.1%前後に対し、5年スワップ金利平均3.3%で再投資を前提にモデル算出¹
- 償還額は年間約400億ポンドだが、再投資額は顧客預金のミックスとフローにより変動
- 預金残高および預金ミックスが2022年度末と比較して変化なしと仮定すると、ヘッジ想定元本は、今後12ヵ月間に、期初1840億ポンドから毎月50億ポンドずつ減少してゆくと推計

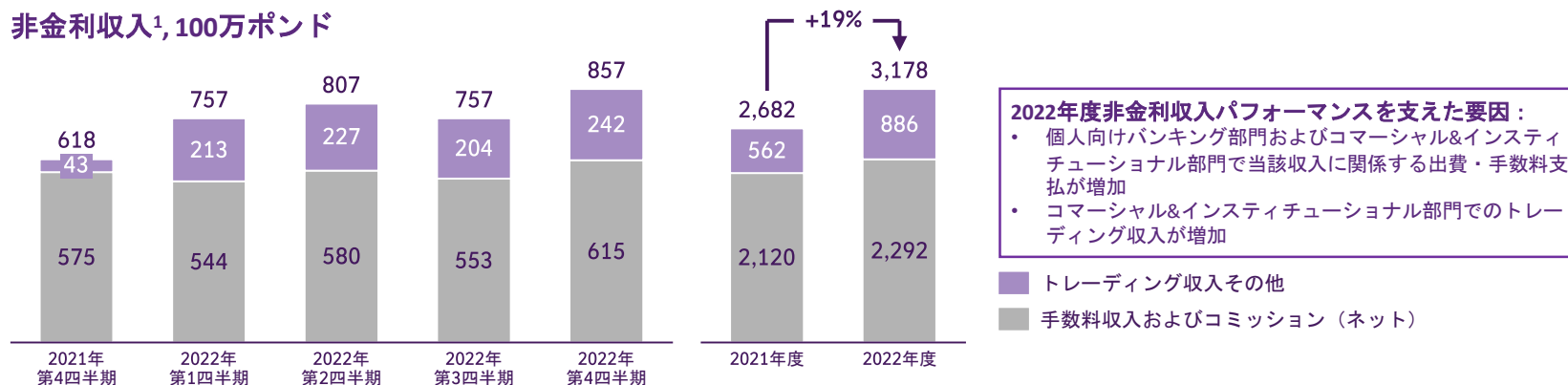
Structural hedge	FY'20	FY'21	FY'22
Period end notional	£169bn	£206bn	£230bn
<i>of which product hedge notional</i>	<i>£125bn</i>	<i>£161bn</i>	<i>£184bn</i>
Annual yield - product hedge	0.83%	0.59%	0.89%
Q4 yield - product hedge	0.72%	0.59%	1.16%

Sensitivity ²	+25 basis points parallel upward shift			-25 basis points parallel downward shift		
	Year 1	Year 2	Year 3	Year 1	Year 2	Year 3
£m						
Structural Hedge	50	158	260	(50)	(158)	(260)
Managed Margin	148	141	136	(170)	(140)	(129)
Total	198	299	396	(220)	(298)	(389)

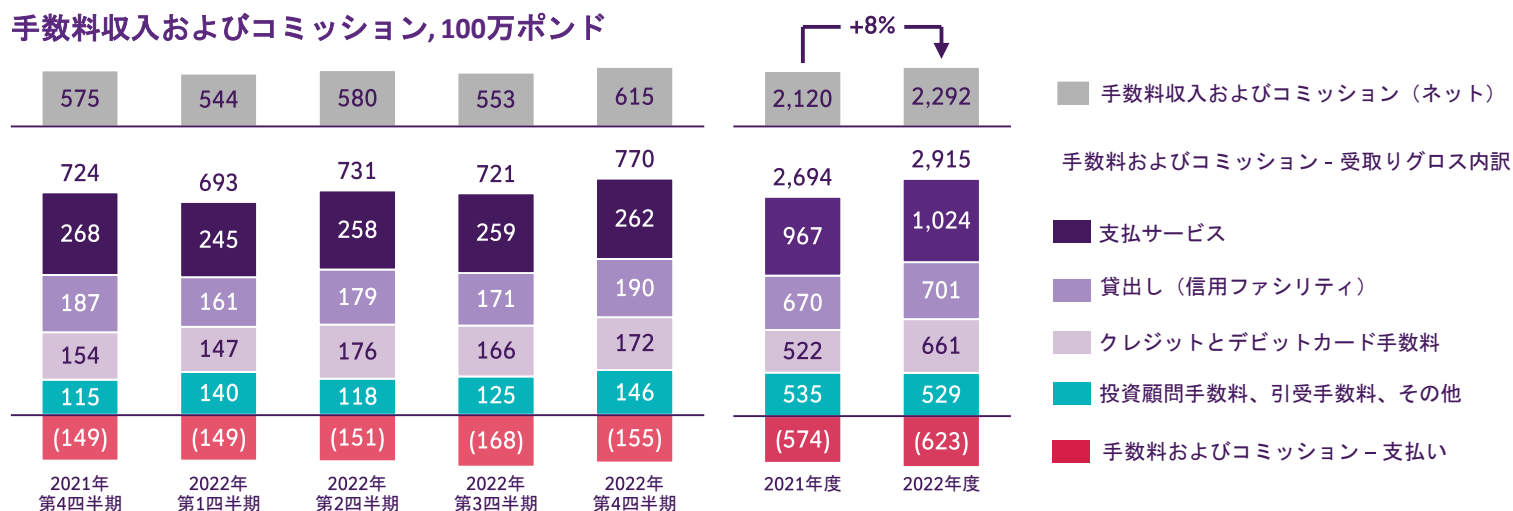
1. 残高のかなりの部分が一年を通して均等に満期を迎えるため、再投資の年間利益の約半分が2023年中に発生する予定 2. 1年目の感応度のおよそ80%がプロダクト構造ヘッジに由来

第4四半期の非金利収入増加を支える新規貸出関連手数料

非金利収入¹, 100万ポンド



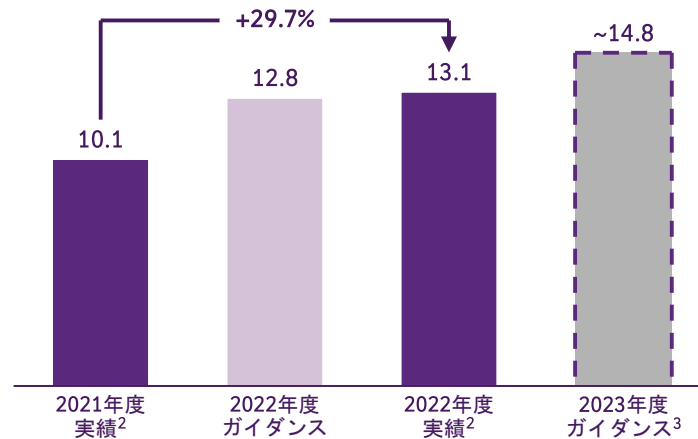
手数料収入およびコミッション, 100万ポンド



1. 当該非金利収入に関する特記事項アイテムを除く。特記事項についてはスライド43ページを参照。

2022年度収益はガイダンスを超える実績 特記事項を除く総収益は2023年度に約148億ポンドの予想

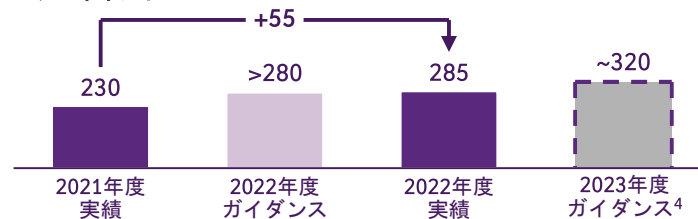
2022年度と2023年度の収益ガイダンス¹
10億ポンド



2023年度収益とネットインタレストマージンに影響を与える要因

- 英国銀行によるベース金利が4%に上昇
- スワップ金利上昇の恩恵で構造ヘッジの再投資から利益
- 預金ミックスとパススルー
- モーゲージ融資マージン
- 貸出金と預金のボリューム
- 顧客の支出レベル
- 市場での取引内容

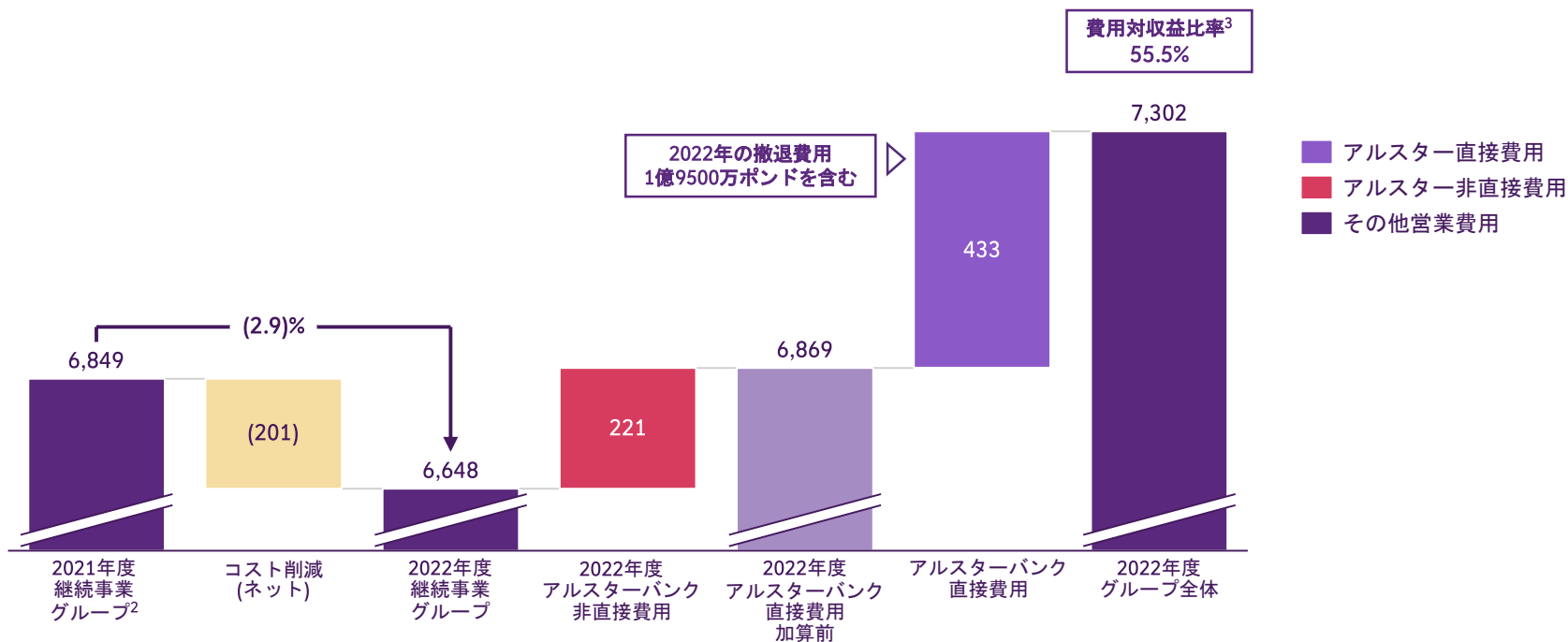
2022年度と2023年度のネットインタレストマージン(NIM) 予想⁴,
ベースポイント



1. スライド43ページに詳述した特記事項を除くベース。2. 継続事業グループはアルスターバンク・アイルランドを除くベースのグループ合計。2022年度の継続事業グループの収益は特記事項を除くベースで130億6100万ポンド、アルスターバンク・アイルランド分を含め特記事項のみを除くベースでは130億6300万ポンド。3. アルスターバンク・アイルランド内の継続事業を含むグループ合計。4. 2022年度のネットインタレストマージン(NIM)はアルスターバンク・アイルランド分および資産バッファを除くベース。2023年度の数値は資産バッファのみを除くベース。

コスト削減は2022年度目標値だった3%前後の圧縮を実現

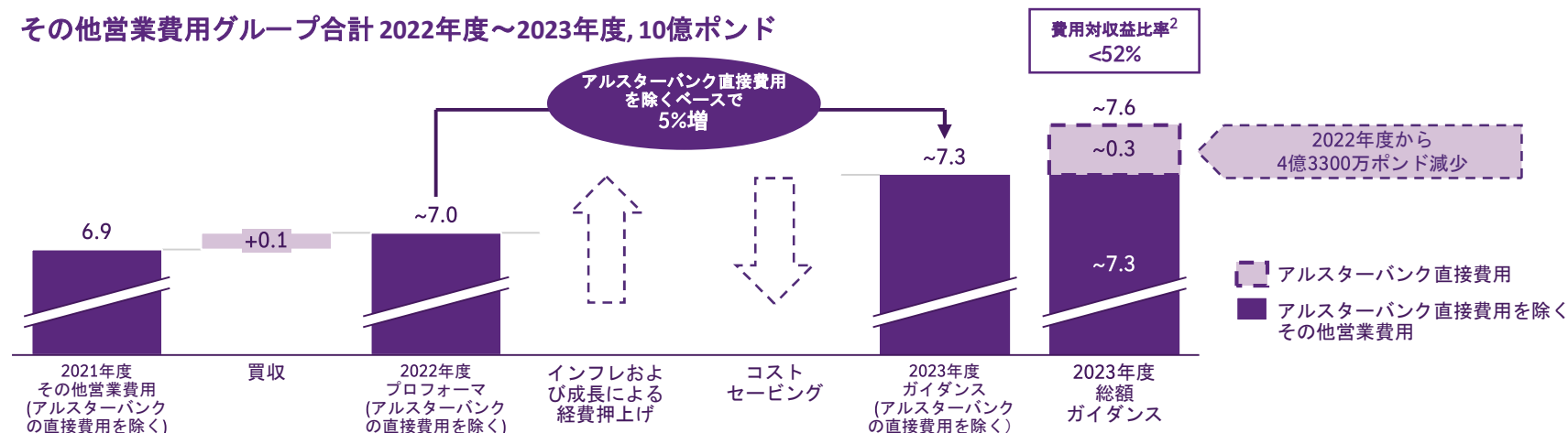
その他営業費用グループ合計¹ 2021年度～2022年度, 100万ポンド



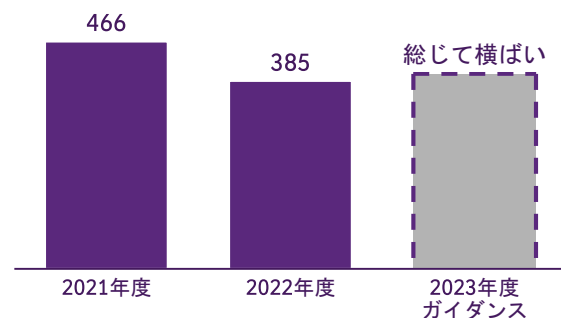
1. 2022年の経費目標値はその他営業費用（問題行為・訴訟関連費用を除く）がベース 2. 継続事業グループにはアルスターバンク・アイルランドは含まれない 3. 費用対収益比率は、グループ収益と、問題行為・訴訟関連費用を除くグループ費用で算出。

その他営業費用は2023年度に約76億ポンド、問題行為・訴訟 関連費用は総じて横ばいと予想

その他営業費用グループ合計 2022年度～2023年度, 10億ポンド



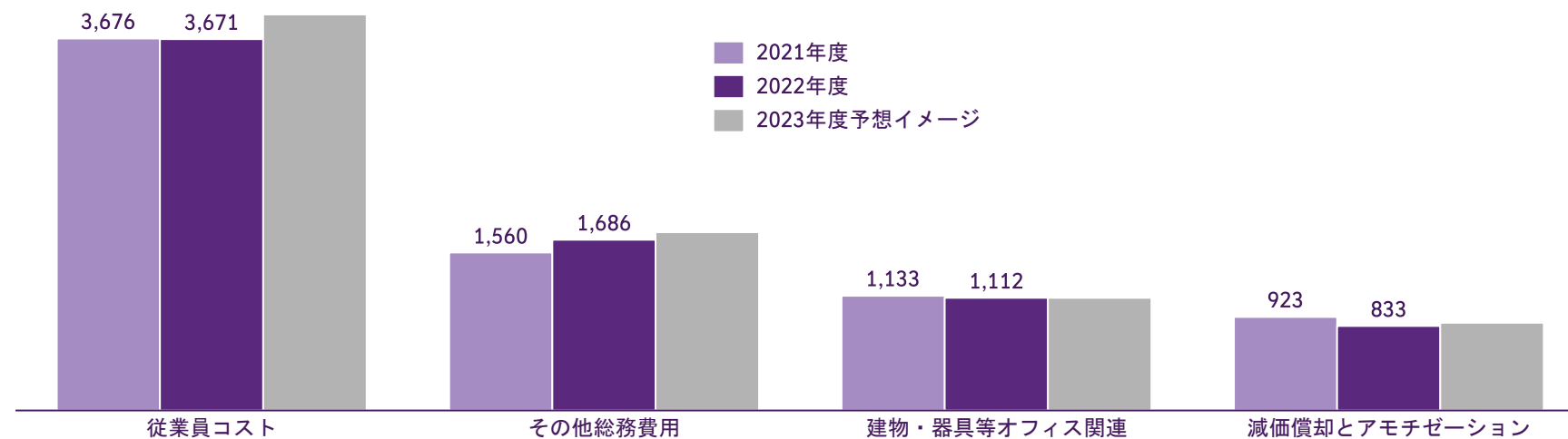
問題行為・訴訟関連費用, 100万ポンド



1. 2022年度の経費目標値はその他営業費用（問題行為・訴訟関連費用を除く）がベース。2. 費用対収益比率は、グループ収益と、問題行為・訴訟関連費用を除くグループ費用で算出。

2023年度その他営業費用に影響を与える要因

その他営業費用グループ合計、100万ポンド¹



<ul style="list-style-type: none"> 平均昇給率が、2022年度3.6%から、2023年4月付けで6.4%に上昇 2023年1月にフルタイム従業員6万名程度に対し、単発で1000ポンドの現金と現金同等支給 	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤー契約でインフレ発生 新規制要綱により不正防止に向けた経費増額 戦略的費用が減少 金融犯罪向け投資は横ばい安定 	<ul style="list-style-type: none"> 光熱費などで市場価格上昇 事業撤退の進捗に伴い不動産関連費用は低減 テクノロジー関連費用は総じて横ばい安定 	<ul style="list-style-type: none"> 償却率は50%程度 近年積極化した投資によりアモチゼーション必要額が増加
--	---	---	---

1. アルスターバンク・アイルランド分を含む

高度に分散が効きリスクが抑制された質の高い融資ブック

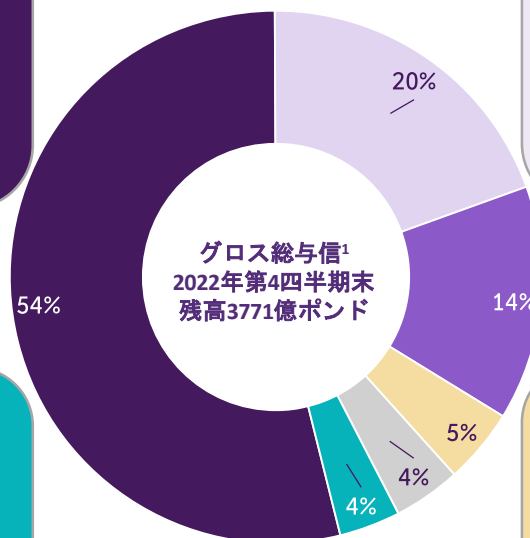
延滞状況は総じて安定的

モーゲージ融資

- 顧客金利は10月をピークに低下
- モーゲージ融資のLTVは 53%²
- 残高：5年66%、2年25%、トラッカー4%、標準変動金利(SVR)4%
- 固定金利貸出の約22%に相当する410億ポンド程度は2023年度末までに返済期間終了
- 17%が金利オンリー融資。ここには賃貸目的の不動産購入(Buy-to-Let/BTL、モーゲージ融資全体の10%)を含む
- 延滞や支払延期は、2021年度と比較して低水準

クレジットカードおよびその他無担保貸出金

- COVID-19関連規制緩和後は顧客需要が堅調、無担保貸出金は増加
- グループ全体の貸出金総額の4%未満
- 期待信用損失カバレッジは9.2%
- 2022年度も引き続きステージ3への移行は少額
- 2022年度の延滞ステータスへの移行は、予想通り正常化され、目立った変化はなし



企業向け融資

- 分散された企業向け貸出金736億ポンド
- 小売り(84億ポンド)、自動車(73億ポンド)、レジャー関連(75億ポンド)等の注意を要する業態へのエクスポージャーは低水準
- 石油・ガス業界へのエクスポージャーは12億ポンドと限定的
- 2022年度中の支払延期では、小売り&レジャー業、不動産業、サービス業が割合で最大。

商業用不動産 (CRE)

- グループ全体の貸出金総額の5%未満
- 商業用不動産向け貸出金のLTVは47%²
- 商業用不動産向け以外の貸出金は154億ポンドで、その大半は住宅協会
- 高リスクカテゴリーへの移行は第4四半期中に増加したものの、前回の景気低下期と比較すると、金額的には比較的少額に納まっている

1. 貸出金は償却原価とその他包括利益を通じた公正価格(FVOCI) 2. 2022年度のポートフォリオ全体のLTVの割合平均値 3. ソブリン向けおよび金融機関向け貸出金

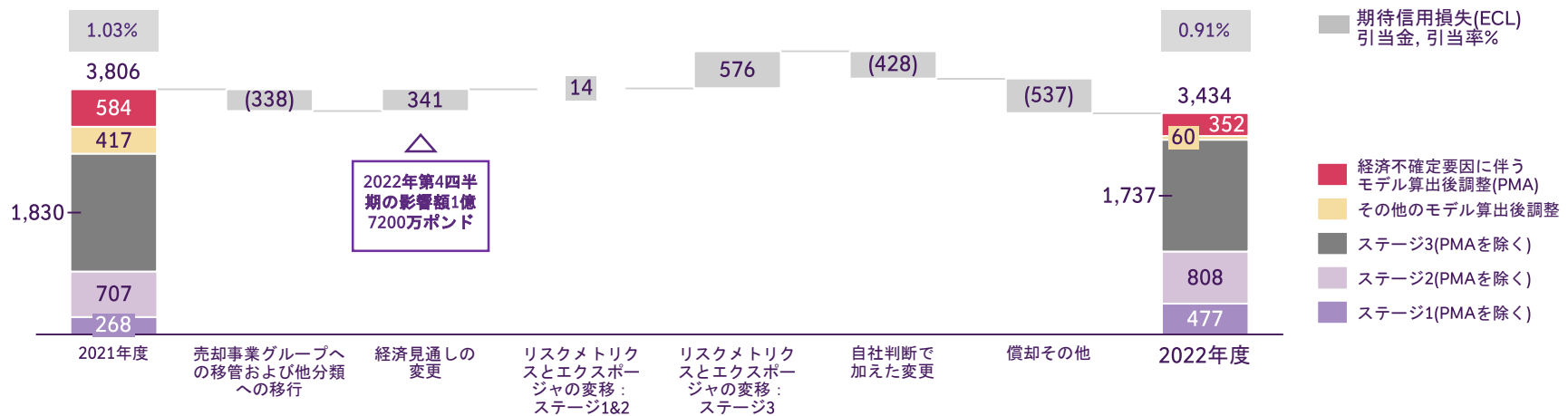
十分な引当てで経済サイクルに対処可能な体制 経済予測の前提条件を変更

経済予測の前提条件と加重配分

	Q3'22				FY'22			
	Upside	Base Case	Downside	Extreme downside	Upside	Base Case	Downside	Extreme downside
	10%	35%	30%	25%	19%	45%	21%	16%
Additional Stage 1 and 2 ECL at 100% weighting					445	216	(193)	(1,565)

Weighted-average variables	Q3'22		FY'22		Change		FY'22 Extreme Downside	
	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
UK GDP - annual growth	(1.4)	1.4	(1.1)	0.4	0.3	(1.0)	(3.1)	(1.6)
UK Unemployment - annual avg.	4.5	5.3	4.7	5.4	0.1	0.1	6.0	8.4
UK House Price Index ¹	(7.2)	0.2	(6.6)	(3.2)	0.6	(3.4)	(10.4)	(15.2)
UK Consumer price index ¹	6.2	2.7	6.0	3.1	(0.2)	0.4	17.0	8.8

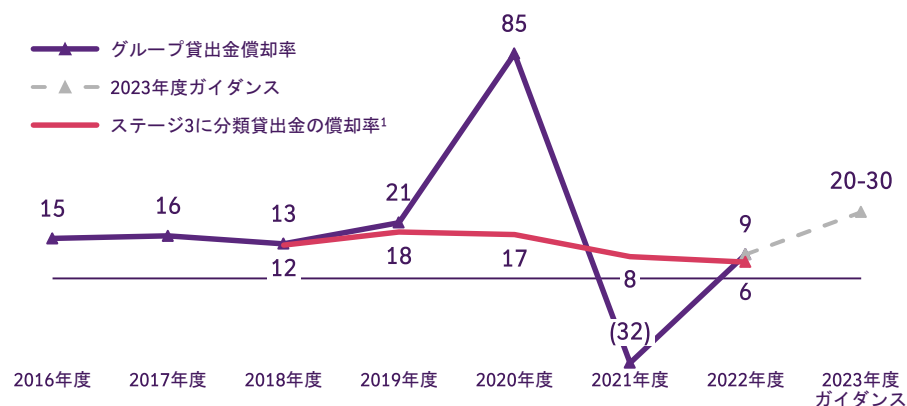
グループ期待信用損失(ECL)引当金の増減要因と引当率,10億ポンド,および引当率



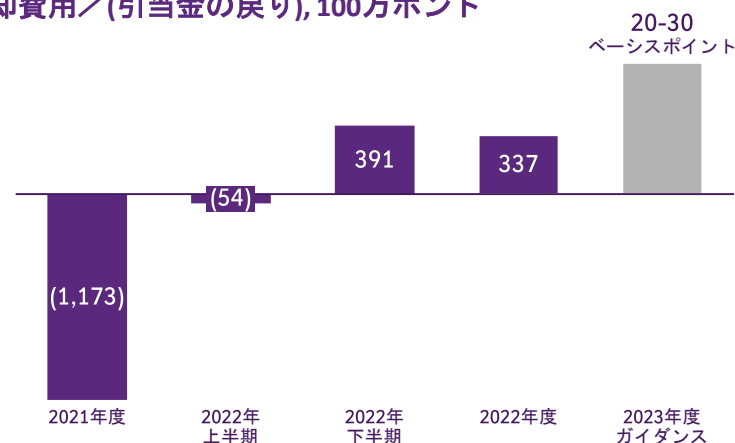
1. 4 四半期の増減

償却費用は2023年度も20～30ベースポイントで横ばい予想

貸出金の償却率推移, ベースポイント



償却費用／(引当金の戻り), 100万ポンド



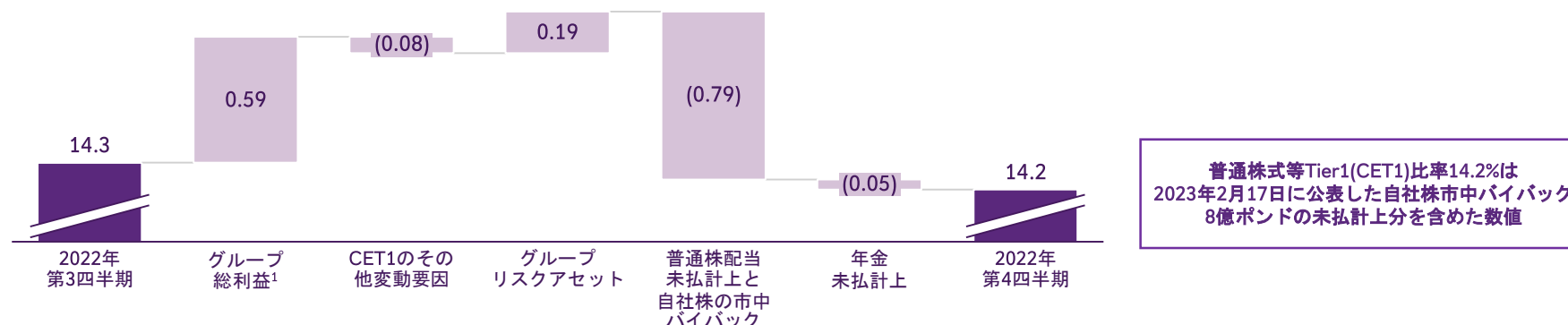
貸出先業態別グループ貸出金の償却詳細

	Personal			Wholesale			
	Mortgages	Unsecured		Property	Corporate	Sovereign and FI	Group
FY'22		Credit cards	Other personal				
Impairment charge/(release),	(74)	56	259	126	(47)	17	337
Loan impairment rate, bps	-4 bps	126 bps	271 bps	39 bps	-6 bps	3 bps	9 bps
Gross loans to customers ² , £bn	203.0	4.5	9.5	32.6	73.8	53.8	377.1
ECL coverage ratio, %	0.19%	5.76%	10.82%	1.35%	1.67%	0.15%	0.91%
ECL coverage ratio - FY'19, %	0.55%	5.83%	8.25%	1.36%	1.66%	0.09%	1.12%

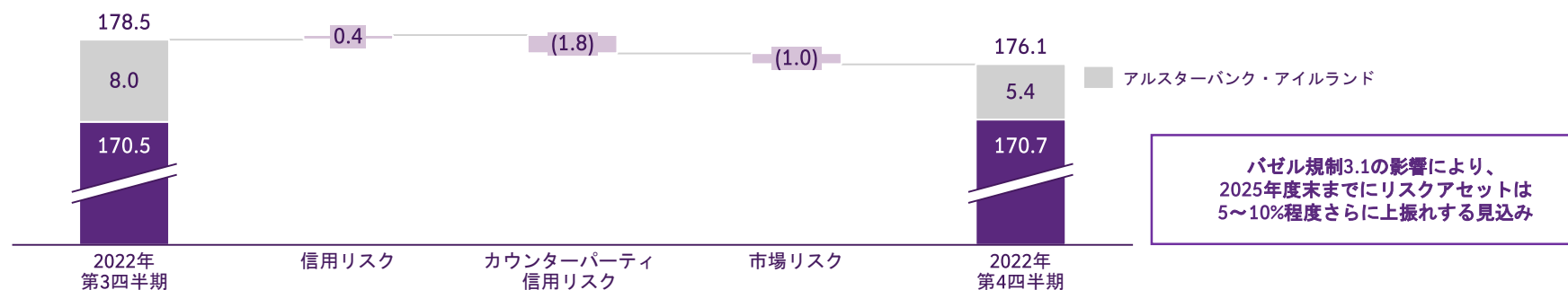
1. 2016年度と2017年度は国際財務報告基準第9号に従った分類債権のディスクロージャ要綱は無し。

持続可能な自己資本創出、普通株式等Tier1(CET1)比率で13～14%のレンジに収め株主への利益配分を継続

普通株式等Tier1(CET1)比率, %



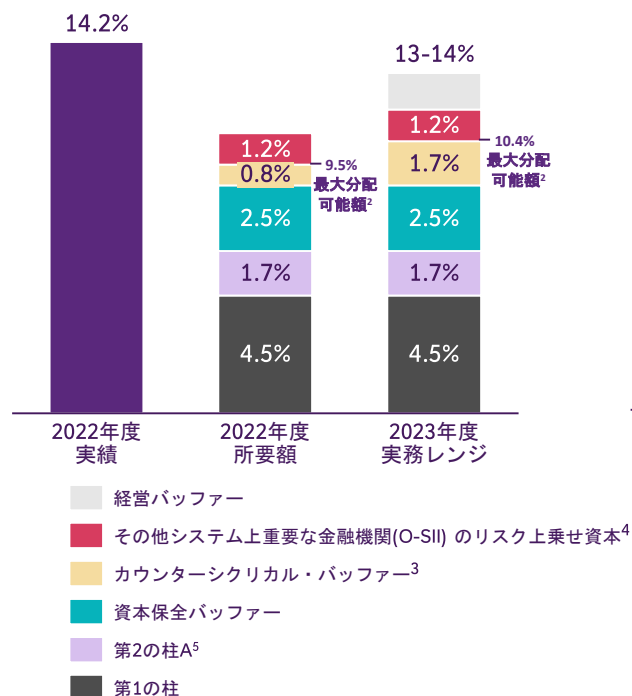
リスクアセット, 10億ポンド¹



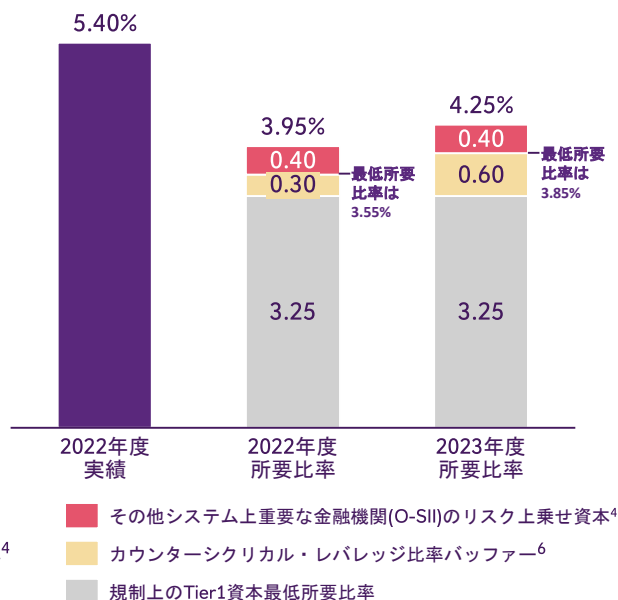
1. 国際財務報告基準の移行期間に伴う緩和措置を差し引き繰延税金資産の増減の調整を施した最終帰属利益。

強靱な自己資本と流動性ポジションに裏打ちされた財務柔軟性

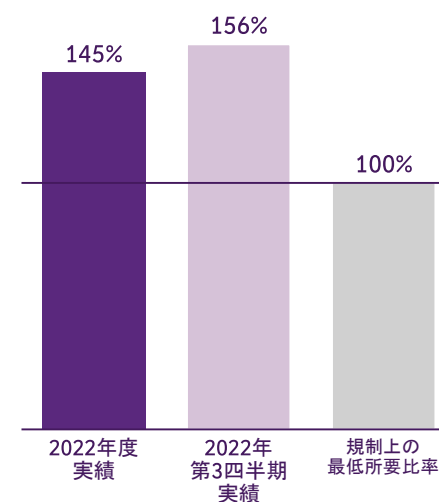
普通株式等Tier1比率(リスクアセットに対する割合、%)^{1,2}



英国レバレッジ比率(レバレッジエクスポージャーに対する割合、%)



流動性カバレッジ比率
- 520億ポンドの余剰有り



1. 2023年度の実務レンジは普通株式等Tier1(CET1)の中期目標比率13~14%に基づいて算出。2. 規制上の自己資本所要比率に変更なしとの仮定に基づく。3. カウンターシクリカル・バッファー-英国の同バッファー所要比率は2022年12月13日付で0%から1%に上昇。2023年7月5日付で同比率は1%から2%へ更に上昇する旨が2022年7月5日に公表されている。4. その他システム上重要な金融機関(O-SII)のリスク上乗せ資本は1.2%程度。同リスク上乗せ資本はグループ全体に対し規制監督上最低所要とされる自己資本に含まれる。5. 第2の柱A所要額は今後変更される可能性が高く、最低年に一度の見直しが必要。第2の柱A所要額のうち56.25%は普通株式等Tier1に適用される自己資本で構成されなければならない。6. カウンターシクリカル・レバレッジ比率バッファーはナットウエストグループのカウンターシクリカルバッファーの35%と設定。上述した通り、英国のカウンターシクリカルバッファーは2023年7月5日を持って1%から2%に上昇する。海外におけるエクスポージャーに対してはそれぞれの国の当局が定めた規制に即し、異なるカウンターシクリカルバッファーの比率が適用される可能性がある。

グループ中期目標値と2023年度ガイダンス

持続可能な中期グループ目標値

持続可能な有形資本利益率(RoTE)

14-16%

費用対収益比率¹

2025年度までに
50%未満に

配当性向

40%

加えて自社株バイバック余力

2025年度までに累計1000億ポンドの気候変動とサステナビリティ関連調達およびファイナシング(CSFF)を実行

普通株式等Tier1(CET1)比率を13~14%のレンジに収め事業展開

2023年度ガイダンス

総収益

約148億ポンド
ネットインタレストマージン
(NIM): 約3.20%

その他営業費用および
費用対収益比率¹

約76億ポンド
52%未満に

貸出金償却率

20-30ベースシポイント

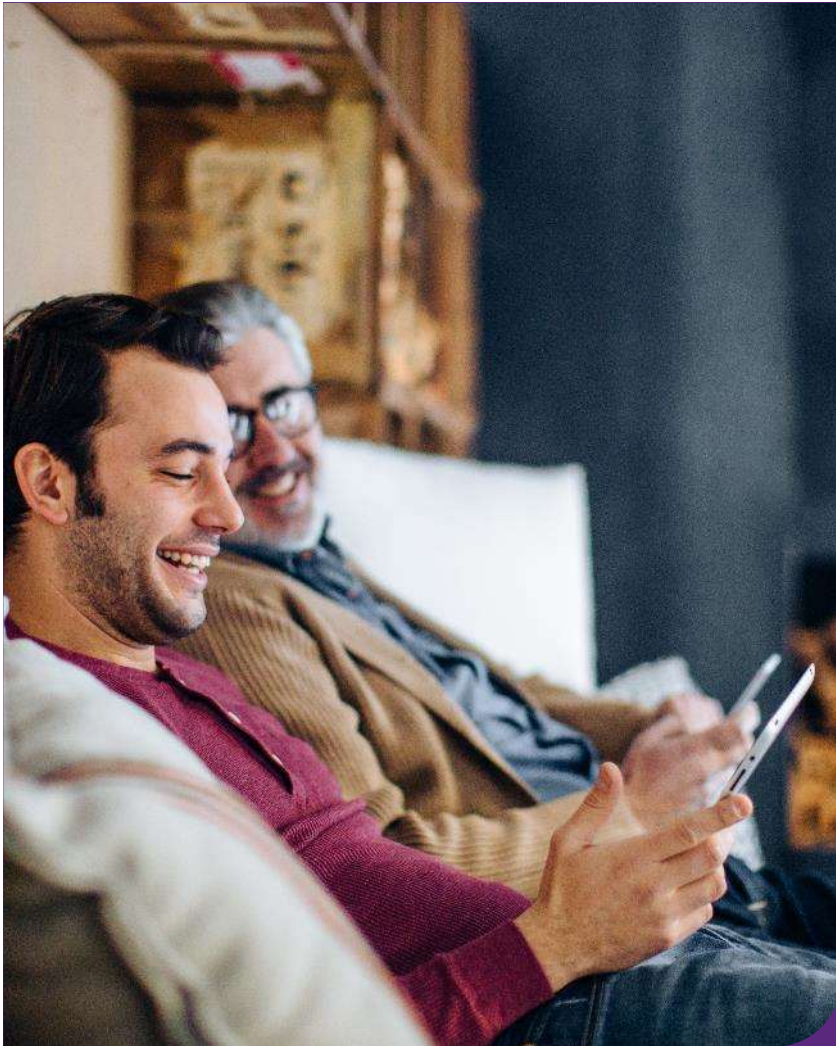
有形資本利益率
(RoTE)

14-16%

株主への利益還元

配当性向40%
加えて自社株バイバック余力²

1. 費用対収益比率はグループ収益と問題行為・訴訟関連費用を除いたベースのグループ費用から算出。2. 当社はブルーデンス規制機構(PRA)から発行済み株式の4.99%まで英国政府から直接買入を行う許可を得ており、さらに当社は8億ポンド相当の自社株を市中バイバックする旨を本日(2023年2月17日)発表。



NatWest
Group

アリソン・ローズ

最高経営責任者

中期的な投資上の着眼点

主要3部門すべてにおいて強力な市場ポジション確立

成長目標に向け実現可能な状態

規律あるコスト管理とリスク管理で費用対収益比率¹を2025年度までに5割未満に

あらゆる経済環境に対処可能なバランスシートで
普通株式等Tier1(CET1)比率13~14%の範囲で事業展開



中期的に持続可能な有形資本利益率は14~16%

配当性向40%に加え、
自社株バックを実行する
余力を維持

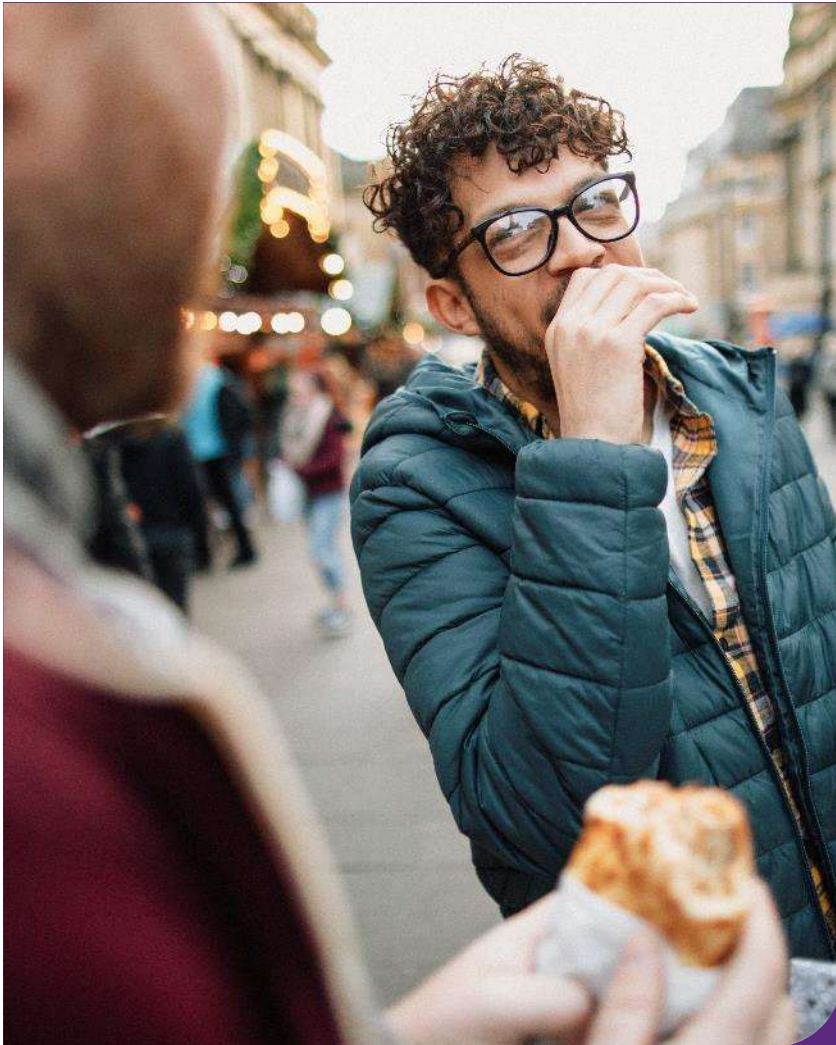
1. 費用対収益比率はグループ収益と問題行為・訴訟関連費用を除いたベースのグループ費用を用いて算出。



質疑応答



NatWest
Group



補足資料



NatWest
Group

中期的な価値創造の変遷

	2008年度-2012年度: 事業安定化	2013年-2019年: 事業再編	2020年度-2022年度: 事業簡素化	2023年度-2025年度 ガイダンスと目標値
	2012年度末	2019年度末	2022年度末	
事業部門数	8	6	3	2023年度ガイダンス 収益 148億ポンド程度 ネットインタレストマージン 3.2%程度 その他営業費用 76億ポンド程度 費用対収益比率 52%未満へ 貸出金償却率 20-30bps 有形資本利益率(RoTE) 14-16% 中期目標 持続可能有形資本利益率 14-16% 費用対収益比率 50%未満へ 配当性向 40% に加えて自社株バイバック余力を維持 普通株式等Tier1(CET1) 13-14%の範囲 リスクアセットはバゼル銀行規制3.1の影響を受け、2025年度末までに5~10%上振れする見込み
費用対収益比率 ¹	101%	60%	56%	
有形資本利益率(RoTE)	9.8% ²	9.4%	12.3%	
総資産	1兆3120億ポンド	7230億ポンド	7200億ポンド	
普通株式等Tier1(CET1)比率	10.3% ³	16.2%	14.2%	
リスクアセット	4596億ポンド	1792億ポンド	1761億ポンド ⁴	
政府保有の割合 ⁵	65%	62%	46% ⁶	

1. 費用対収益比率はグループ収益と問題行為・訴訟関連費用を除くベースのグループ費用を用いて算出。2. コアRoE、グループ数値は非公開 3. コアTier1自己資本比率、普通株Tier1は未適用 4. 2022年度リスクアセットには2022年1月1日以降に生じた規制による増加分約190億ポンドが含まれる。 5. 英国財務省(HMT) が有する総議決権(TVR)% 6. 2023年2月16日時点では43.5%

見通しについて¹

見通し	マクロ経済見通しに不確実性が依然残る。当社では市況を睨みつつ、経済状況の変化に従い当社の経済予測に調整を加えてゆく予定。以下に述べる見通しは、当社が現時点で想定する金利および経済動向への期待に基づいている。
2023年度予想	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体の有形資本利益率(RoTE)は引き続き14～16%の見込み。 英国銀行のベース金利は2023年度中は4.00%で推移すると仮定、特記事項を除くグループ収益は年間148億ポンド程度、ネットインタレストマージン(NIM)は年率で3.20%程度になると予想。 グループ全体の費用対収益比率は52%を下回ると予想。問題行為・訴訟関連費用を除く営業費用はグループ全体で76億ポンドを見込む。 2023年度中の償却費用は、平常ペースで発生する20～30ペーシスポイントのレンジで推移すると予測。
自己資本と調達	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度は自己資本の内部生成と株主への多額の利益還元をとともに実行可能と予想。 普通株配当性向は最終帰属利益の40%とし、英国政府からの直接買戻しも継続する予定。ただし政府からの直接買戻し実行に関しては、英国財務省の意向に即するところであり、買戻しできる上限は12か月間で発行済み株式数の4.99%までと決められている。 利益還元の一環として自社株の市中バイバックを考慮するとともに、当社の戦略に即し十分なリターンを見込める外部投資先があれば買収機会の模索可能性はある。 グループ自己資本と調達計画の一環として、2023年度内に適格債務最低基準(MREL)の条件を満たすシニア債を30～50億ポンド発行予定。GSS債発行の枠組みでも取り組みを続け、Tier2資本証券で最高10億ポンド発行も視野に。ナットウエスト・マーケッツplcの調達計画ではベンチマーク公募債で30～50億ポンド発行予定。
中期見通し	<ul style="list-style-type: none"> グループの有形資本利益率(RoTE)を中期的にも14～16%で維持。 グループの費用対収益比率は2025年度までに50%未満まで低下する予想。同比率算出に用いる費用には問題行為・訴訟関連費用を含まない。 パゼル銀行規制3.1の影響が加わるため、リスクアセットは2025年度末までに現在より5～10%上振れする見込み。 自己資本の内部生成に加え、普通株配当支払い、および自社株バイバックを通じて多額の資本返還を中期的に継続。普通株式等Tier1(CET1)比率は中期的に13～14%の範囲に収める予定。

1. 本項で述べられるガイダンス、目標、期待、傾向はナットウエストグループ経営陣の現時点における期待であり、2022年度アニュアルレポートに記載されたナットウエストグループPlcのリスク要因を含め、今後変更される可能性がある。これら記述は将来予測に関する記述である。詳細は本資料の末尾「将来予測に関する記述」を参照のこと。

英国経済予測の前提条件¹

	FY'22					Q3'22					H1'22					FY'21			
Scenario	Upside	Base Case	Downside	Extreme downside		Upside	Base Case	Downside	Extreme downside		Upside	Base Case	Downside	Extreme downside		Upside	Base Case	Downside	Extreme downside
Weighting	19%	45%	21%	16%	Weighted average	10%	35%	30%	25%	Weighted average	21%	45%	20%	14%	Weighted average	30%	45%	20%	5%
UK GDP – Annual Growth (%)																			
2023	2.2	(0.9)	(2.8)	(3.1)	(1.1)	2.9	0.8	(2.4)	(5.1)	(1.4)	2.9	0.8	(2.4)	(5.1)	(0.2)	2.1	1.6	2.4	4.1
2024	1.9	0.7	(0.4)	(1.6)	0.4	1.7	1.4	2.1	0.3	1.4	1.7	1.4	2.1	0.3	1.5	1.2	0.9	1.6	1.2
5 year - CAGR	1.6	0.8	0.2	(0.2)	0.7	1.9	1.2	0.9	0.1	0.9	1.7	1.1	0.8	(0.1)	1.0	2.4	1.7	1.4	0.6
UK Unemployment rate – annual average (%)																			
2023	3.9	4.4	5.0	6.0	4.7	3.0	3.8	4.9	5.9	4.5	3.0	3.8	4.9	5.9	4.1	3.3	4.0	5.2	8.8
2024	3.9	4.9	5.7	8.4	5.4	3.3	4.0	4.8	8.7	5.3	3.3	4.0	4.8	8.7	4.7	3.4	4.1	4.7	6.6
5 year average	3.9	4.6	5.1	7.2	5.0	3.3	4.0	4.6	6.4	4.7	3.3	4.0	4.5	6.3	4.3	3.5	4.2	4.8	6.7
UK House Price Index – four quarter growth (%)																			
2023	7.5	(7.8)	(13.7)	(10.4)	(6.6)	5.5	2.0	(11.7)	(20.4)	(7.2)	5.5	2.0	(11.7)	(20.4)	(3.0)	4.2	1.6	(0.2)	(2.6)
2024	4.5	(0.9)	(7.7)	(15.2)	(3.2)	2.9	1.9	0.4	(4.6)	0.2	2.9	1.9	0.4	(4.6)	1.2	3.1	2.9	1.7	13.0
5 year - total change	21.5	(1.3)	(6.0)	(22.4)	(1.3)	23.7	13.1	(1.4)	(11.0)	3.8	24.4	13.7	(0.9)	(10.5)	9.6	22.7	12.1	4.3	(5.3)
UK Commercial Real Estate Price – four quarter growth (%)																			
2023	2.1	(8.4)	(19.7)	(22.4)	(11.0)	3.9	0.2	(10.8)	(27.6)	(9.2)	3.9	0.2	(10.8)	(27.6)	(4.6)	3.4	1.9	4.2	17.2
2024	1.9	(0.5)	2.8	(29.1)	(3.2)	1.4	(0.1)	4.5	8.5	3.0	1.4	(0.1)	4.5	8.5	1.9	1.7	0.2	1.7	5.2
5 year - total change	(0.1)	(14.4)	(17.2)	(38.3)	(16.1)	6.4	(3.6)	(7.8)	(15.4)	(6.8)	7.5	(2.6)	(6.8)	(14.5)	(3.0)	18.2	7.2	5.5	(6.4)
Consumer price index – four quarter growth (%)																			
2023	2.2	3.7	6.0	17.0	6.0	(0.9)	1.1	8.1	13.7	6.2	(0.9)	1.1	8.1	13.7	3.9	2.2	2.2	2.4	0.9
2024	1.0	2.7	1.0	8.8	3.1	2.0	2.0	0.4	6.4	2.7	2.0	2.0	0.4	6.4	2.3	2.0	2.0	0.9	0.9
5 year - CAGR	2.4	3.0	3.1	7.0	3.6	2.0	2.2	3.3	6.5	3.6	2.7	2.9	3.9	7.2	3.7	2.7	2.5	3.1	1.5

1. 経済予測の前提条件全容はナットウエストグループ2022年度アニュアルレポート196ページから198ページ、同2022年度上半期中間経営報告書21ページから22ページ、同2021年度アニュアルレポート206ページから208ページを参照。

部門別業績サマリー

アルスターバンク・アイルランドの継続事業は現在、セントラル管理部門その他に含まれている。

Group FY'22, £bn	Retail Banking	Private Banking	Commercial & Institutional	Central items & other	Group
Net interest income	5.2	0.8	4.2	(0.3)	9.8
Non-interest income	0.4	0.3	2.2	0.4	3.3
Total income	5.6	1.1	6.4	0.0	13.2
<i>Income ex-notable items</i>	5.6	1.1	6.4	(0.1)	13.1
Other operating expenses	(2.5)	(0.6)	(3.6)	(0.6)	(7.3)
Litigation and conduct	(0.1)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(0.4)
Operating expenses	(2.6)	(0.6)	(3.7)	(0.7)	(7.7)
Operating profit/(loss) before impairment releases/(losses)	3.1	0.4	2.7	(0.7)	5.5
Impairment releases/(losses)	(0.2)	0.0	(0.1)	0.0	(0.3)
Operating profit/(loss)	2.8	0.4	2.5	(0.7)	5.1
Net loans to customers - amortised cost	197.6	19.2	129.9	19.6	366.3
Customer Deposits	188.4	41.2	203.3	17.4	450.3
RWA's	54.7	11.2	103.2	7.0	176.1
Return on equity / tangible equity	28.6%	24.5%	12.2%	nm	12.3%
Cost:income ratio	44%	58%	56%	nm	56%

1. 四捨五入の影響で合計値に差が生じる可能性がある。

アルスターバンク・アイルランド：継続事業と非継続事業

アルスターバンク・アイルランドの継続事業は現在、セントラル管理部門その他に含まれている。

アルスターバンク・アイルランドの非継続事業は引き続き、グループ全体の損益計算書上で税引後ベースでひとつの勘定にまとめて表示されている。

Ulster Bank ROI (£m)	FY'22			FY'21		
	Continuing operations	Discontinued operations	Total	Continuing operations	Discontinued operations	Total
Total income	(53)	(295)	(348)	145	352	497
Operating expenses	(678)	(38)	(716)	(482)	(45)	(527)
o/w Other operating expenses	(654)	(38)	(692)	(443)	(45)	(488)
Profit/(loss) before impairment losses	(731)	(333)	(1,064)	(337)	307	(30)
Impairment losses	8	71	79	(77)	162	85
Operating profit/(loss) before tax	(723)	(262)	(985)	(414)	469	55
Loans to customers - amortised cost	0.3	1.5	1.7	6.7	9.0	15.6
Customer deposits	6.2	-	6.2	18.4	-	18.4

Ulster Bank ROI (€m)	FY'22			FY'21		
	Continuing operations	Discontinued operations	Total	Continuing operations	Discontinued operations	Total
Total income	(64)	(344)	(408)	168	410	578
Operating expenses	(797)	(45)	(842)	(557)	(52)	(609)
o/w Other operating expenses	(769)	(45)	(814)	(512)	(52)	(564)
Profit/(loss) before impairment losses	(861)	(389)	(1,250)	(389)	358	(31)
Impairment losses	9	84	93	(89)	188	99
Operating profit/(loss) before tax	(852)	(305)	(1,157)	(478)	546	68
Loans to customers - amortised cost	0.3	1.6	2.0	7.9	10.7	18.6
Customer deposits	6.9	-	6.9	21.9	-	21.9

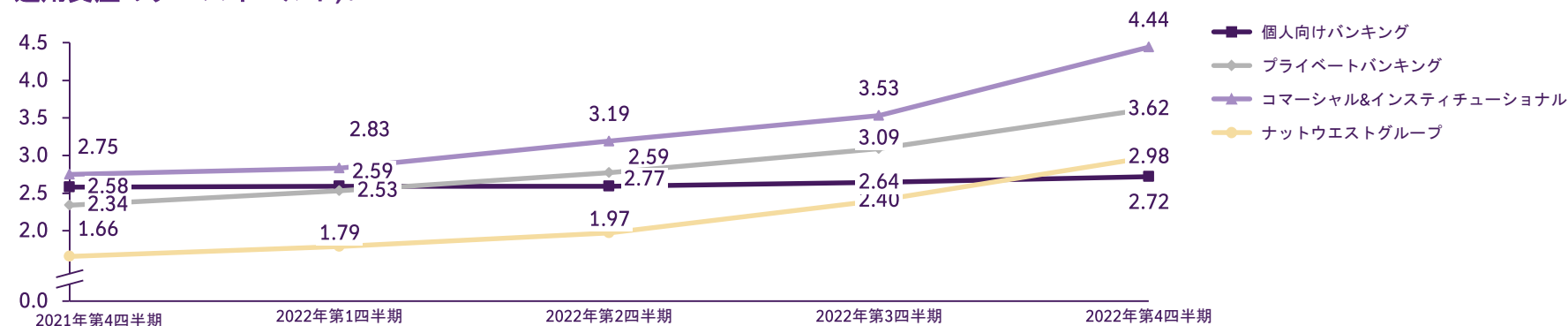
特記事項

	Q1'21	Q2'21	Q3'21	Q4'21	FY'21	Q1'22	Q2'22	Q3'22	Q4'22	FY'22
Group income	2,570	2,571	2,686	2,602	10,429	3,008	3,211	3,229	3,708	13,156
Notable items in Income, £m	Q1'21	Q2'21	Q3'21	Q4'21	FY'21	Q1'22	Q2'22	Q3'22	Q4'22	FY'22
<i>Private Banking</i>										
Consideration on the sale of Adam & Company investment management business	--	--	--	54	54	--	--	--	--	--
<i>Commercial and Institutional Banking</i>										
Own credit adjustments (OCA)	2	(1)	2	3	6	18	34	9	(19)	42
Loss on redemption of own debt	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Tax variable lease repricing, NII impact	--	32	--	--	32	--	--	--	--	--
Fair value, disposal losses and strategic risk reduction	(18)	(44)	(8)	(16)	(86)	--	(45)	--	--	(45)
<i>Central items & other</i>										
Interest and FX risk management derivatives not in accounting hedge relationships	(1)	45	--	3	47	166	149	100	(46)	369
Loss on redemption of own debt	(118)	(20)	--	--	(138)	(24)	--	(137)	--	(161)
Liquidity Asset Bond sale gains	5	20	45	50	120	41	(5)	(124)	--	(88)
Share of associate profits/(losses) for Business Growth Fund	121	8	79	11	219	23	(36)	(16)	7	(22)
Property strategy update	--	--	--	(44)	(44)	--	--	--	--	--
Own credit adjustments (OCA)	--	(1)	--	1	--	--	--	--	--	--
Effective interest rate adjustment as a result of redemption of own debt	--	--	--	--	--	--	--	--	(41)	(41)
Profit from Insurance liabilities settlement	-	-	--	-	--	--	--	--	92	92
Ulster Bank Rol gain/(loss) arising from the restructuring of structural hedges	--	--	35	-	35	-	-	-	-	-
Ulster Bank Rol fair value mortgage adjustment	--	--	--	--	--	--	--	--	(51)	(51)
Total notable items in Group income	(9)	39	153	62	245	224	97	(168)	(58)	95
Group income excluding notable items	2,579	2,532	2,533	2,540	10,184	2,784	3,114	3,397	3,766	13,061
	Q1'21	Q2'21	Q3'21	Q4'21	FY'21	Q1'22	Q2'22	Q3'22	Q4'22	FY'22
Group operating expenses	(1,804)	(1,695)	(1,931)	(2,328)	(7,758)	(1,820)	(1,833)	(1,896)	(2,138)	(7,687)
Notable items in Operating Expenses, £m	Q1'21	Q2'21	Q3'21	Q4'21	FY'21	Q1'22	Q2'22	Q3'22	Q4'22	FY'22
Litigation & Conduct	(16)	34	(294)	(190)	(466)	(102)	(67)	(125)	(91)	(385)
Total notable items in Group Expenses	(16)	34	(294)	(190)	(466)	(102)	(67)	(125)	(91)	(385)
Group operating expenses excluding notable items	(1,788)	(1,729)	(1,637)	(2,138)	(7,292)	(1,718)	(1,766)	(1,771)	(2,047)	(7,302)
Memo: Bank Levy	--	--	--	(99)	(99)	5	--	--	(106)	(101)
Group Metrics	Q1'21	Q2'21	Q3'21	Q4'21	FY'21	Q1'22	Q2'22	Q3'22	Q4'22	FY'22
Cost:income ratio – reported	69.6%	67.3%	60.9%	82.2%	69.9%	57.1%	55.0%	54.8%	55.2%	55.5%
Cost:income ratio – excluding income notable items ¹	69.3%	68.3%	64.6%	84.2%	71.6%	61.7%	56.7%	52.1%	54.4%	55.9%
RoTE – reported	7.9%	15.6%	8.5%	5.6%	9.4%	11.3%	15.2%	2.9%	20.6%	12.3%
RoTE – excluding income notable items and litigation and conduct ¹	8.2%	14.8%	10.8%	7.4%	10.3%	10.4%	15.1%	6.8%	22.8%	13.5%

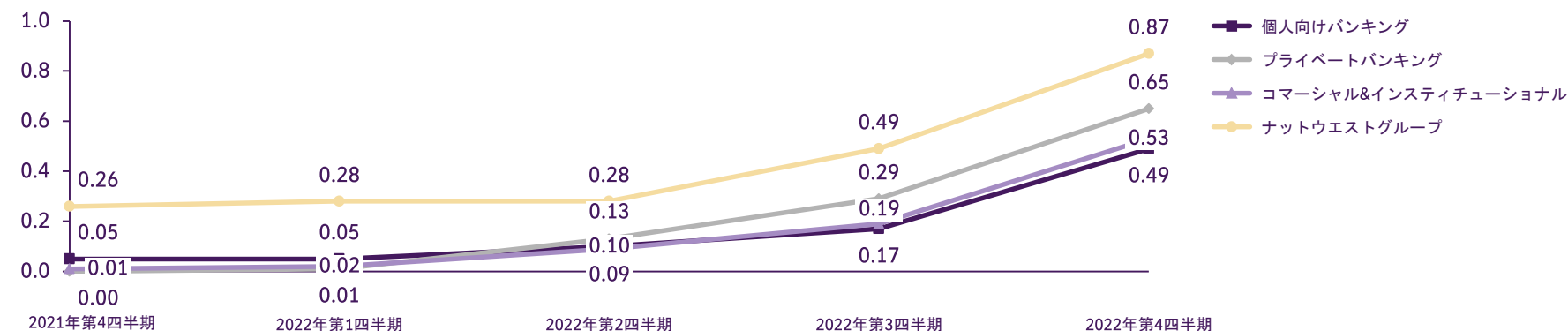
1. 銀行税を含む以外は本ページに記されたすべての特記事項を除く。問題行為・訴訟関連費用および税シールドが考慮されない銀行税を除き、それら以外の特記事項にかかる税率は27%と前提。

金利上昇が貸出金金利と預金金利をともに押し上げ

運用資産のグロスイールド, %¹



有利子負債および無利子負債の調達コスト, %²



1. ナットウエストグループplcの数値は、銀行事業の運用資産全体のグロスイールド；個人向けバンキング、コマーシャル&インスティテューショナル、およびプライベートバンキングでは、自己勘定を含まないサードパーティ顧客資産の金利。2. ナットウエストグループplcの数値はグループの銀行事業有利子負債と無利子資金の合計全体にかかる調達コスト；個人向けバンキングおよびコマーシャル&インスティテューショナルでは、サードパーティ顧客から集めた資金総額（有利子預金・無利子預金の双方を含む）の金利。

構造ヘッジ¹

	FY 2022			
	Total Income (£m)	Period end notional (£bn)	Average Notional (£bn)	Total Yield %
Equity	363	21	21	1.77
Product	1571	184	176	0.89
Other	201	25	26	0.77
Total	2,135	230	223	0.96

	H1 2022			
	Total Income (£m)	Period end notional (£bn)	Average Notional (£bn)	Total Yield %
Equity	178	20	20	1.77
Product	585	182	168	0.70
Other	76	28	27	0.57
Total	839	230	215	0.78

	FY 2021			
	Total Income (£m)	Period end notional (£bn)	Average Notional (£bn)	Total Yield %
Equity	448	21	22	2.05
Product	861	161	145	0.59
Other	115	24	23	0.51
Total	1,424	206	190	0.75

1. ナットウエストグループの2022年度アニュアルレポート266ページ、同上半期中間経営報告書の75ページ、同2021年度アニュアルレポートの268ページを参照。

金利感応度¹

FY 2022	+25 basis points parallel upward shift			-25 basis points parallel downward shift		
	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)
Structural Hedge	50	158	260	(50)	(158)	(260)
Managed Margin	148	141	136	(170)	(140)	(129)
Total	198	299	396	(220)	(298)	(389)

H1 2022	+25 basis points parallel upward shift			-25 basis points parallel downward shift		
	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)
Structural Hedge	45	150	253	(45)	(150)	(253)
Managed Margin	231	227	223	(219)	(205)	(227)
Total	276	377	476	(264)	(355)	(480)

FY 2021	+25 basis points parallel upward shift			-25 basis points parallel downward shift		
	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)	Year 1 (£m)	Year 2 (£m)	Year 3 (£m)
Structural Hedge	40	132	224	(40)	(132)	(224)
Managed Margin	269	203	239	(245)	(199)	(177)
Total	309	335	463	(285)	(331)	(401)

1. ナットウエストグループ2022年度アニュアルレポート268ページ、同2022年度上半期中間経営報告書76ページを参照。

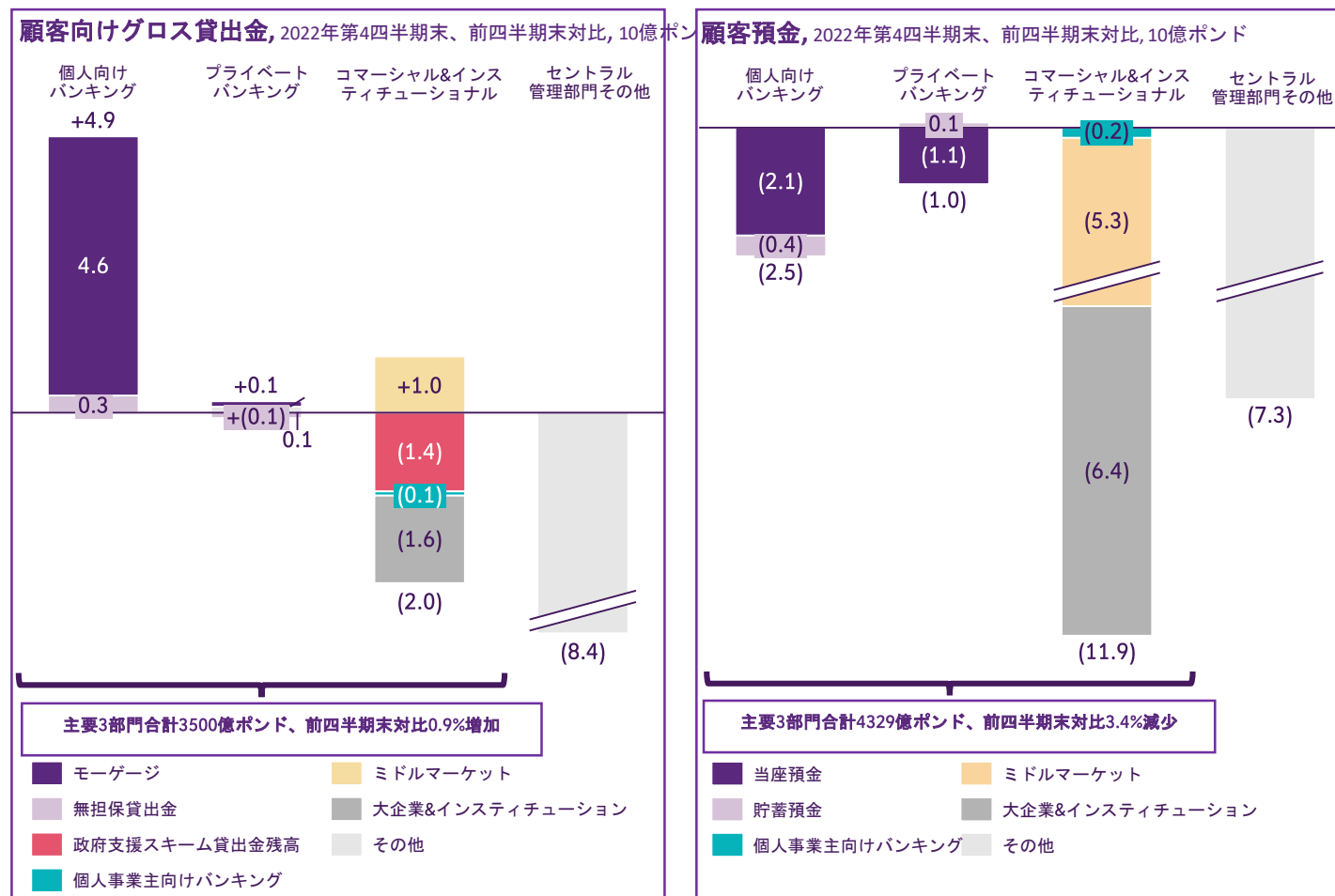
顧客向け貸出金¹ および預金

	Loans to customers - amortised cost, £bn ²		Customer Deposits, £bn		LDR, %	
	Q3'22	Q4'22	Q3'22	Q4'22	Q3'22	Q4'22
Retail Banking	192.8	197.6	190.9	188.4	101%	105%
Private Banking	19.1	19.2	42.2	41.2	45%	47%
Commercial & Institutional	131.9	129.9	215.2	203.3	61%	64%
Central items & other	28.0	19.6	24.7	17.4	n.m.	n.m.
NatWest Group Net L&As, deposits and LDR	371.8	366.3	473.0	450.3	75%	79%
Impairment provisions	3.3	3.4				
Natwest Group Gross Loans to Customers	375.1	369.7				
<i>Of which Government Scheme Lending within C&I and Private</i>	9.5	8.1				

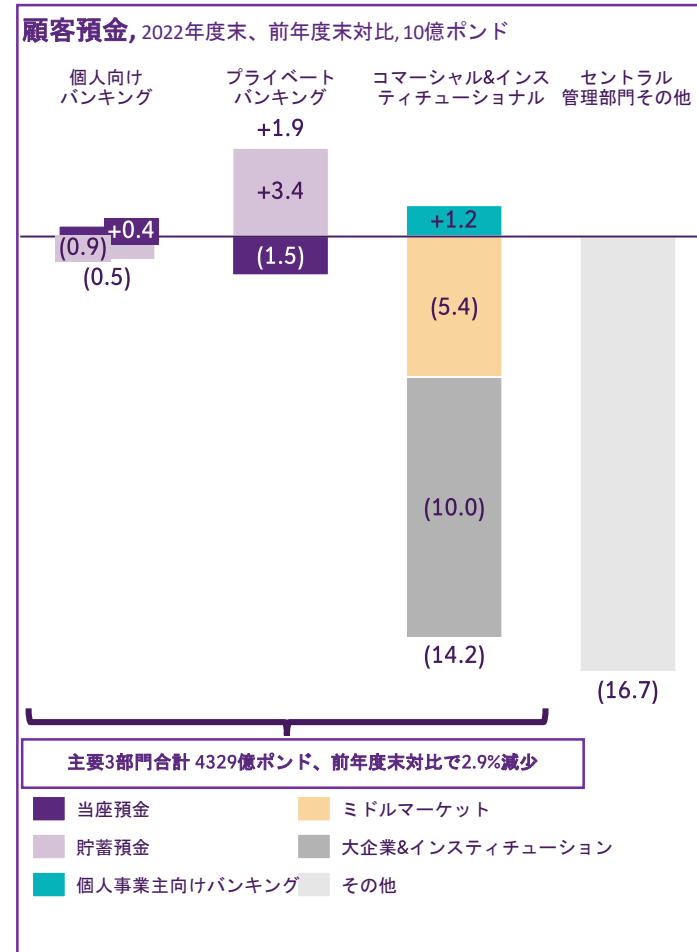
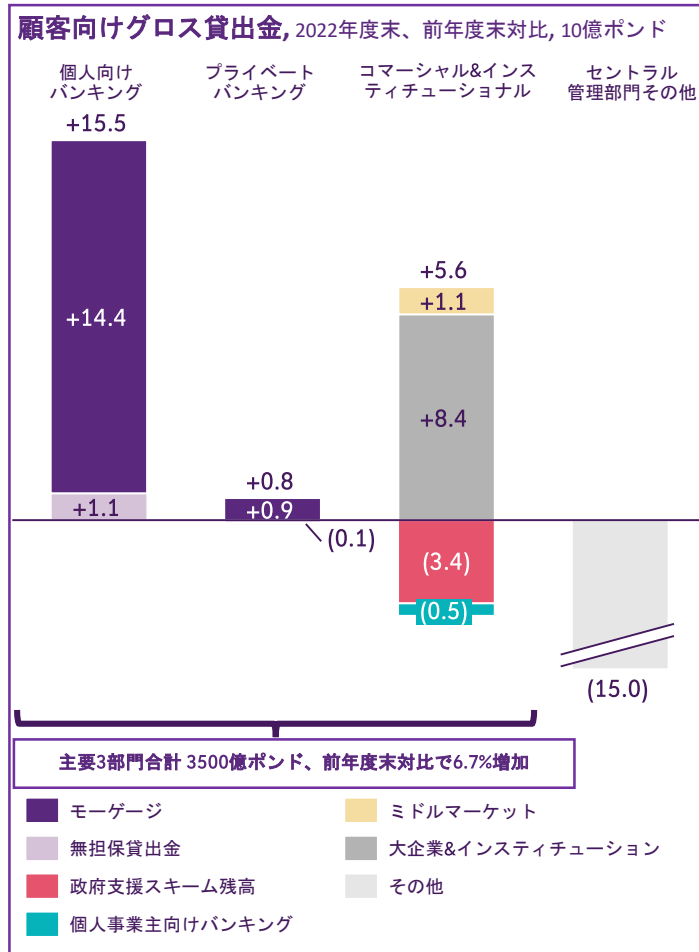
	Q3'22	Q4'22
Natwest Group Gross Loans to Customers	375.1	369.7
Loans to banks - amortised cost	9.6	7.1
Loans and advances @ FVOCI	0.1	0.1
Excluded from ECL	(0.4)	0.2
Loans to customers and banks - amortised cost and FVOCI	384.4	377.1

1. 償却原価で表示した貸出金のみ。2. 四捨五入の影響で合計値に差が生じる可能性がある。

2022年第4四半期：顧客向けグロス貸出金と顧客預金の第3四半期からの増減



2022年度：顧客向けグロス貸出金と顧客預金の2021年度からの増減

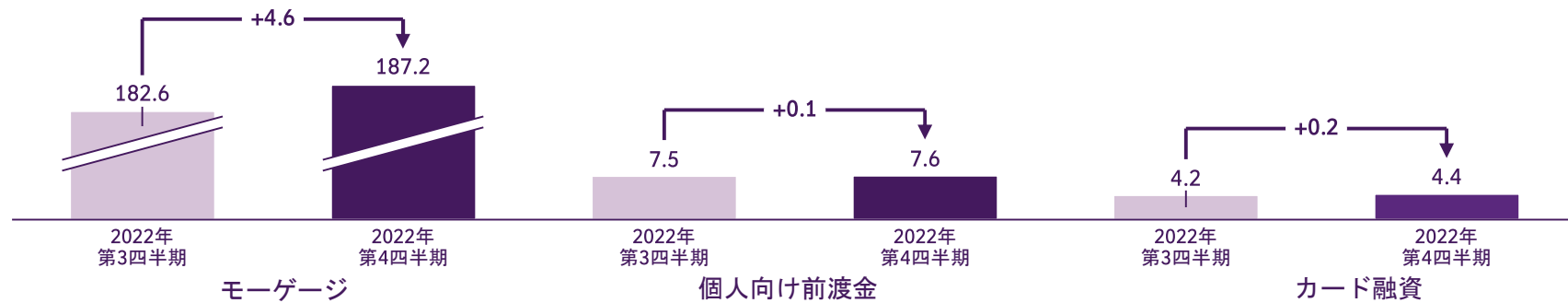


セントラル管理部門その他の減少分は主としてアルスターバンク・アイルランドの貸出金および預金が2022年度中に減少したため

2022年第4四半期：貸出金増減 商品別／部門別

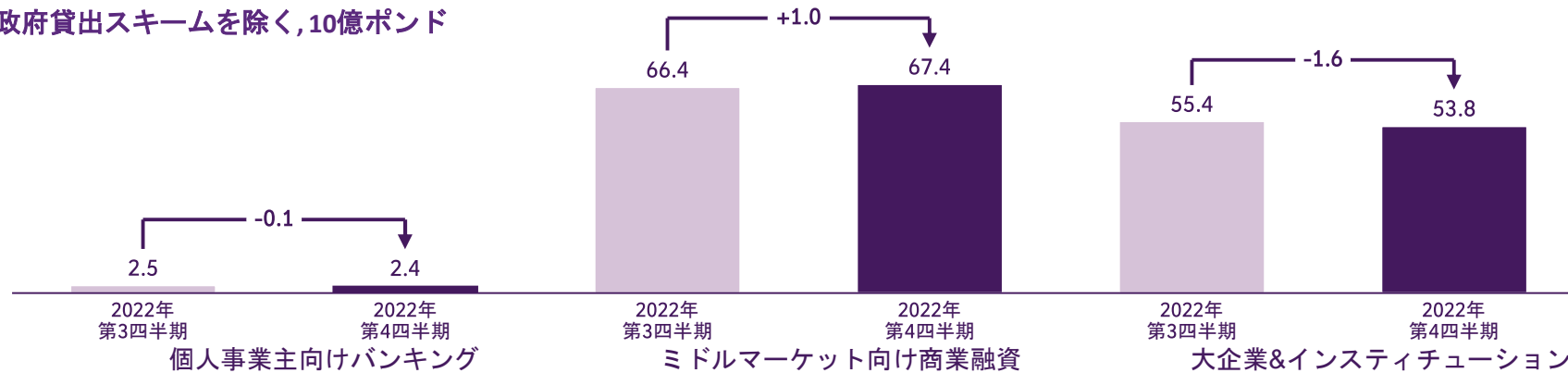
顧客向け総貸出金(償却原価), 10億ポンド

個人向けバンキング



コマーシャル&インスティテューショナル 顧客向けグロス貸出金(償却原価)

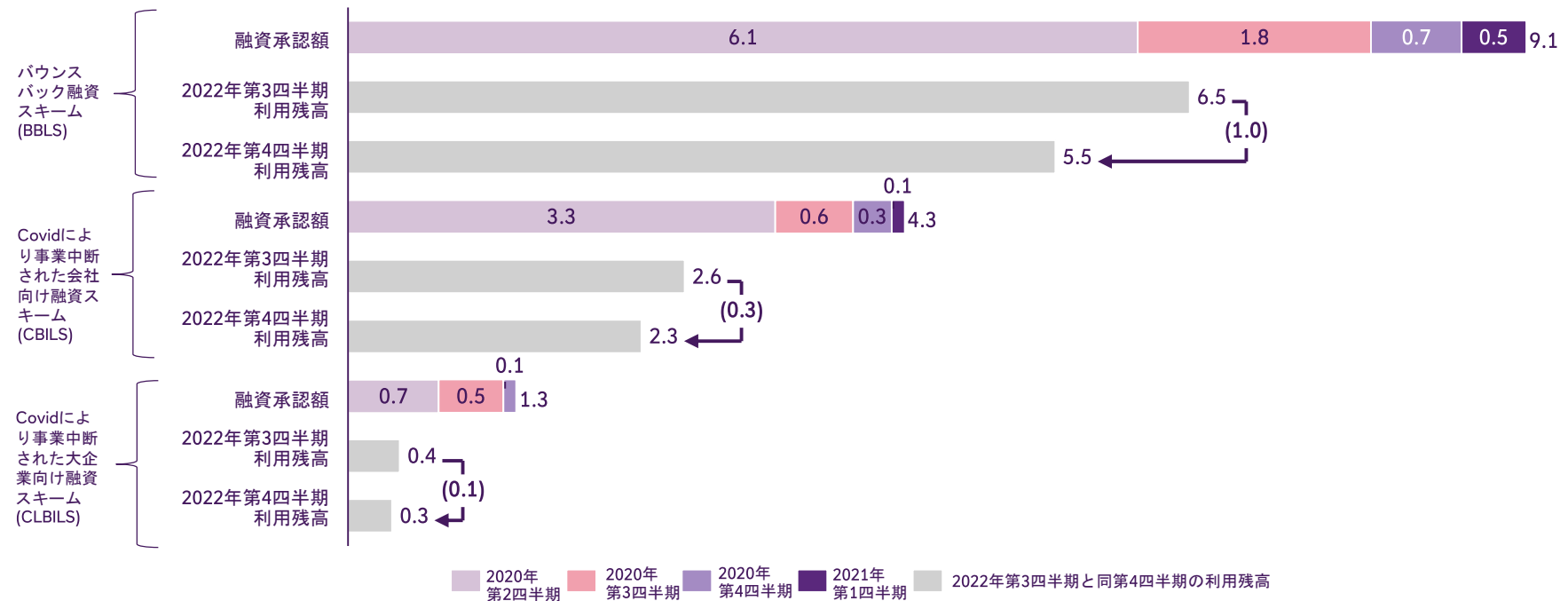
政府貸出スキームを除く, 10億ポンド



COVID-19禍のもとで実行された顧客サポート

2022年度の政府支援スキームへのネット返済額は35億ポンド、第4四半期だけで14億ポンドの返済
英国政府の支援スキームに基づく融資残高は81億ポンド、グループ総与信(償却原価)の2%に相当

ナットウエストグループが手掛けた政府による支援貸出スキーム、10億ポンド¹



1. 本チャートはナットウエストグループとして手掛けた政府貸出スキームの状況。BBLS、CBILS、CLBILS 各スキームへの新規借入れ申し込みは2021年第1四半期で締め切られた。

部門別償却費用(損失)／引当金の戻り

	Retail Banking	Private Banking	Commercial & Institutional	Central items & other	Group
FY'22 (£m)	(229)	2	(122)	12	(337)
FY'22 (bps)	11	(1)	9	nm	9
FY'21 (£m)	36	54	1,160	(77)	1,173
FY'21 (bps)	(2)	(29)	(92)	nm	(32)

Q4'22 (£m)	(87)	(2)	(62)	7	(144)
Q4'22 (bps)	17	4	19	nm	16
Q3'22 (£m)	(116)	(7)	(119)	(5)	(247)
Q3'22 (bps)	24	15	36	nm	26
Q4'21 (£m)	(5)	12	317	(55)	269
Q4'21 (bps)	1	(26)	(101)	nm	(30)

支払期日延長措置：モーゲージおよびホールセール融資

Forbearance, £m	Mortgages
2022 Flow	193
2022 Stock	1,039
2021 Flow	389
2021 Stock	2,111

Property	FI	Other corporate	Total wholesale
746	105	2,575	3,426
933	107	4,709	5,749
709	27	3,894	4,630
1,033	35	5,659	6,727

資産内容¹

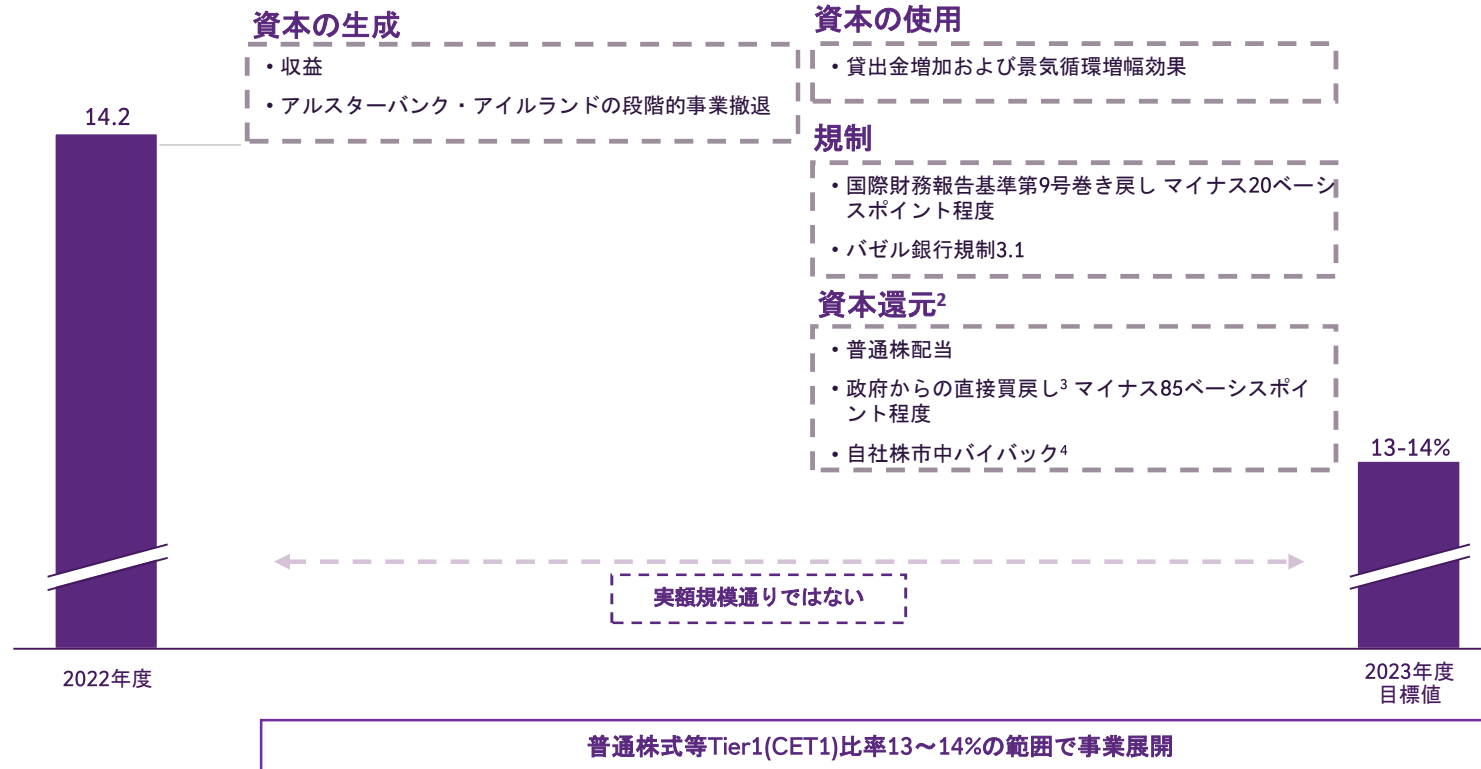
Mortgage LTV distribution by stage																
	Total				Stage 1				Stage 2				Stage 3			
	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22
≤50%	51,791	55,857	66,488	80,675	47,746	50,170	61,233	71,321	3,375	5,009	4,548	8,257	511	554	644	1,036
>50% and ≤70%	51,582	63,202	73,437	76,593	47,224	55,263	68,271	68,178	3,804	7,416	4,674	7,792	463	488	483	616
>70% and ≤80%	24,992	29,698	25,353	19,267	23,235	19,994	24,004	17,602	1,568	9,555	1,255	1,602	150	141	93	62
>80% and ≤90%	15,251	13,639	6,256	8,880	14,030	8,029	5,983	7,918	1,111	5,552	250	944	85	52	22	17
>90% and ≤100%	3,610	520	1,193	1,433	3,401	368	1,125	1,409	174	137	58	18	20	13	10	6
>100%	238	169	38	52	111	48	14	35	100	99	18	7	24	20	6	10
Total with LTVs	147,464	163,085	172,765	186,900	135,747	133,872	160,630	166,463	10,132	27,768	10,803	18,620	1,253	1,268	1,258	1,747
% of Group L&As	43.8%	43.8%	45.6%	49.4%	40.3%	35.9%	42.4%	44.0%	3.0%	7.5%	2.9%	4.9%	0.4%	0.3%	0.3%	0.5%
Total portfolio average LTV%	57%	57%	54%	53%	57%	55%	54%	53%	59%	66%	52%	52%	66%	60%	53%	47%
Commercial Real Estate (CRE) LTV distribution by stage																
	Total				Stage 1				Stage 2				Stage 3			
	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22	FY'19	FY'20	FY'21	FY'22
≤50%	10,132	9,594	7,457	7,792	8,787	4,918	6,767	7,010	468	4,538	388	658	40	138	34	57
>50% and ≤70%	6,191	6,307	5,352	4,375	4,945	2,815	4,367	3,515	252	3,266	470	798	148	226	46	43
>70% and ≤100%	618	576	705	504	380	169	377	259	138	283	192	82	88	124	127	156
>100%	309	409	312	136	104	50	215	102	51	64	7	10	153	295	86	23
Total with LTVs	17,250	16,886	13,826	12,807	14,216	7,952	11,726	10,886	909	8,151	1,057	1,548	429	783	293	279
% of Group L&As	5.1%	4.5%	3.6%	3.4%	4.2%	2.1%	3.1%	2.9%	0.3%	2.2%	0.3%	0.4%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
Total portfolio average LTV%	48%	48%	50%	47%	46%	45%	48%	45%	55%	47%	58%	52%	101%	93%	88%	75%
Other	2,835	3,153	2,708	2,568	658	1,776	2,271	1,800	149	511	293	627	123	159	61	55
Development	2,971	3,320	2,103	1,949	2,377	1,362	1,736	1,553	272	1,767	228	332	144	161	62	57
Total	23,056	23,359	18,637	17,324	17,251	11,090	15,733	14,239	1,330	10,429	1,578	2,507	696	1,103	416	391

1. 資産内容全容はナットウエストグループ2022年度アニュアルレポートの222ページから225ページ、同上半期中間経営報告書42ページから45ページ、2021年度アニュアルレポート228ページから230ページ、および2020年度アニュアルレポート194ページから196ページを参照。表中の合計には国際財務報告基準第9号(IFRS9)に即した期待信用損失対象外のモーゲージも含まれる点に注意。

有形ネット資産価値（TNAV）

	GBP, m	Share count, m	Pence
As at 30 September 2022	24,093	9,650	250
Attributable profit	1,262		13
Cash flow hedge reserve (net of tax)	502		5
FX	(117)		(1)
Remeasurement of net defined benefit liability	(158)		(2)
Other movements	(100)	9	(1)
Net change	1,389	9	14
As at 31 December 2022	25,482	9,659	264

普通株式等Tier1(CET1)比率に影響を与える重要要因¹, %



1. 影響度は概算値であり、2022年度末時点の自己資本ポジションを用いて各要因ごとに個別推計された数値。推計値は四半期ごとに変更になり、要因をすべて併せて考慮した推計値は個別推計値の単純合計とは異なる。
2. 株主への資本還元は規制当局の認可を要する。政府からの直接買戻しは2023年3月に発生した分のみを反映。
3. 政府からの直接買戻しは2月16日の取引最終株価305.6ペンスを一株当たりの価格として算出。
4. 2022年12月31日時点の普通株式等Tier1(CET1)比率14.2%は本日(2023年2月17日)発表された8億ポンドの自社株バイバック分を含む。

Cautionary and Forward-looking statements

The guidance, targets, expectations and trends discussed in this presentation represent NatWest Group management's current expectations and are subject to change, including as a result of the factors described in the "Risk Factors" in NWG's 2022 Annual Report and Accounts, as well as the Risk Factors in the NWM 2022 Annual Report and Accounts.

Cautionary statement regarding forward-looking statements

Certain sections in this document contain 'forward-looking statements' as that term is defined in the United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995, such as statements that include the words 'expect', 'estimate', 'project', 'anticipate', 'commit', 'believe', 'should', 'intend', 'will', 'plan', 'could', 'probability', 'risk', 'Value-at-Risk (VaR)', 'target', 'goal', 'objective', 'may', 'endeavour', 'outlook', 'optimistic', 'prospects' and similar expressions or variations on these expressions. In particular, this document includes forward-looking targets and guidance relating to financial performance measures, such as income growth, operating expense, RoTE, ROE, discretionary capital distribution targets, impairment loss rates, balance sheet reduction, including the reduction of RWAs, CET1 ratio (and key drivers of the CET1 ratio including timing, impact and details), Pillar 2 and other regulatory buffer requirements and MREL and non-financial performance measures, such as NatWest Group's initial area of focus, climate and ESG-related performance ambitions, targets and metrics, including in relation to initiatives to transition to a net zero economy, Climate and Sustainable Funding and Financing (CSFF) and financed emissions. In addition, this document includes forward-looking statements relating, but not limited to: implementation of NatWest Group's purpose-led strategy and other strategic priorities (including in relation to: phased withdrawal from ROI, cost-controlling measures, the NatWest Markets refocusing, the creation of the CeH franchise and the progression towards working as One Bank across NatWest Group to serve customers); the timing and outcome of litigation and government and regulatory investigations; direct and on-market buy-backs; funding plans and credit risk profile; managing its capital position; liquidity ratio; portfolios; net interest margin and drivers related thereto; lending and income growth, product share and growth in target segments; impairments and write-downs; restructuring and remediation costs and charges; NatWest Group's exposure to political risk, economic assumptions and risk, climate, environmental and sustainability risk, operational risk, conduct risk, financial crime risk, cyber, data and IT risk and credit rating risk and to various types of market risk, including interest rate risk, foreign exchange rate risk and commodity and equity price risk; customer experience, including our Net Promoter Score (NPS); employee engagement and gender balance in leadership positions.

Limitations inherent to forward-looking statements

These statements are based on current plans, expectations, estimates, targets and projections, and are subject to significant inherent risks, uncertainties and other factors, both external and relating to NatWest Group's strategy or operations, which may result in NatWest Group being unable to achieve the current plans, expectations, estimates, targets, projections and other anticipated outcomes expressed or implied by such forward-looking statements. In addition, certain of these disclosures are dependent on choices relying on key model characteristics and assumptions and are subject to various limitations, including assumptions and estimates made by management. By their nature, certain of these disclosures are only estimates and, as a result, actual future results, gains or losses could differ materially from those that have been estimated. Accordingly, undue reliance should not be placed on these statements. The forward-looking statements contained in this document speak only as of the date we make them and we expressly disclaim any obligation or undertaking to update or revise any forward-looking statements contained herein, whether to reflect any change in our expectations with regard thereto, any change in events, conditions or circumstances on which any such statement is based, or otherwise, except to the extent legally required.

Important factors that could affect the actual outcome of the forward-looking statements

We caution you that a large number of important factors could adversely affect our results or our ability to implement our strategy, cause us to fail to meet our targets, predictions, expectations and other anticipated outcomes or affect the accuracy of forward-looking statements described in this document. These factors include, but are not limited to, those set forth in the risk factors and the other uncertainties described in NatWest Group plc's Annual Report and its other filings with the US Securities and Exchange Commission. The principal risks and uncertainties that could adversely affect NatWest Group's future results, its financial condition and/or prospects and cause them to be materially different from what is forecast or expected, include, but are not limited to: economic and political risk (including in respect of: political and economic risks and uncertainty in the UK and global markets, including due to high inflation, supply chain disruption and the Russian invasion of Ukraine); uncertainty regarding the effects of Brexit; changes in interest rates and foreign currency exchange rates; and HM Treasury's ownership as the largest shareholder of NatWest Group plc); strategic risk (including in respect of the implementation of NatWest Group's purpose-led Strategy; future acquisitions and divestments; phased withdrawal from ROI and the transfer of its Western European corporate portfolio); financial resilience risk (including in respect of: NatWest Group's ability to meet targets and to make discretionary capital distributions; the competitive environment; counterparty and borrower risk; prudential regulatory requirements for capital and MREL; liquidity and funding risks; changes in the credit ratings; the requirements of regulatory stress tests; model risk; sensitivity to accounting policies, judgments, assumptions and estimates; changes in applicable accounting standards; the value or effectiveness of credit protection; the adequacy of NatWest Group's future assessments by the Prudential Regulation Authority and the Bank of England; and the application of UK statutory stabilisation or resolution powers); climate and sustainability risk (including in respect of: risks relating to climate change and the transitioning to a net zero economy; the implementation of NatWest Group's climate change strategy, including publication of an initial climate transition plan in 2023 and climate change resilient systems, controls and procedures; climate-related data and model risk; the failure to adapt to emerging climate, environmental and sustainability risks and opportunities; changes in ESG ratings; increasing levels of climate, environmental and sustainability related regulation and oversight; and climate, environmental and sustainability-related litigation, enforcement proceedings and investigations); operational and IT resilience risk (including in respect of: operational risks (including reliance on third party suppliers); cyberattacks; the accuracy and effective use of data; complex IT systems; attracting, retaining and developing senior management and skilled personnel; NatWest Group's risk management framework; and reputational risk); and legal, regulatory and conduct risk (including in respect of: the impact of substantial regulation and oversight; compliance with regulatory requirements; the outcome of legal, regulatory and governmental actions and investigations; the transition of LIBOR other IBOR rates to replacement risk-free rates; and changes in tax legislation or failure to generate future taxable profits).

Climate and ESG disclosures

Climate and ESG disclosures in this document are not measures within the scope of International Financial Reporting Standards ('IFRS'), use a greater number and level of judgements, assumptions and estimates, including with respect to the classification of climate and sustainable funding and financing activities, than our reporting of historical financial information in accordance with IFRS. These judgements, assumptions and estimates are highly likely to change over time, and, when coupled with the longer time frames used in these disclosures, make any assessment of materiality inherently uncertain. In addition, our climate risk analysis and net zero strategy remain under development, and the data underlying our analysis and strategy remain subject to evolution over time. The process we have adopted to define, gather and report data on our performance on Climate and ESG measures is not subject to the formal processes adopted for financial reporting in accordance with IFRS and there are currently limited industry standards or globally recognised established practices for measuring and defining Climate and ESG related metrics. As a result, we expect that certain climate and ESG disclosures made in this document are likely to be amended, updated, recalculated or restated in the future. Please also refer to the cautionary statement in the section entitled 'Climate-related and other forward-looking statements and metrics' of the NatWest Group 2021 Climate-related Disclosures Report.

Cautionary statement regarding Non-IFRS financial measures and APMs

NatWest Group prepares its financial statements in accordance with generally accepted accounting principles (GAAP). This document may contain financial measures and ratios not specifically defined under GAAP or IFRS ('Non-IFRS') and/or alternative performance measures ('APMs') as defined in European Securities and Markets Authority ('ESMA') guidelines. APMs are adjusted for notable and other defined items which management believes are not representative of the underlying performance of the business and which distort period-on-period comparison. Non-IFRS measures provide users of the financial statements with a consistent basis for comparing business performance between financial periods and information on elements of performance that are one-off in nature. Any Non-IFRS measures and/or APMs included in this document, are not measures within the scope of IFRS, are based on a number of assumptions that are subject to uncertainties and change, and are not a substitute for IFRS measures.

The information, statements and opinions contained in this document do not constitute a public offer under any applicable legislation or an offer to sell or a solicitation of an offer to buy any securities or financial instruments or any advice or recommendation with respect to such securities or other financial instruments.